

平成23年7月21日

第3回さいたま市立病院のあり方検討委員会資料
～ 参考資料 ～

目次

	ページ		ページ
1.さいたま市の疾患別一日当たりの患者数の動向	2	11.さいたま市立病院直近10年間の経営指標及び活動の時系列推移	26
2.今後の医療制度動向について:政府・与党社会保障改革案より	4	12.さいたま市立病院の診療科目別医師数の時系列推移	27
3.医療機関リスト	6	13.経営診断における比較病院リスト	28
4.DPC制度の概要と基本的な考え方	11	14.各病院の概要	31
5.埼玉県内DPC病院の機能評価係数	14	ア)政令市7病院、イ)経営良好10病院、ウ)地方独立行政法人3病院	
6.疾患別の取扱状況 ~ 他院の状況 ~	17	15.収支構造	34
7.がん医療	18	ア)政令市7病院、イ)経営良好10病院、ウ)地方独立行政法人3病院	
8.脳卒中医療	20	16.医業収益の状況	37
9.急性心筋梗塞医療	22	ア)政令市7病院、イ)経営良好10病院、ウ)地方独立行政法人3病院	
10.糖尿病医療	24	17.職員数の状況	40
		ア)政令市7病院、イ)経営良好10病院	
		18.DPCの状況	42
		ア)政令市7病院、イ)経営良好10病院、ウ)地方独立行政法人3病院	
		19.他会計繰入金について	48

1. さいたま市の疾患別一日当たりの患者数の動向

参考資料

本編： 2. 医療需要の状況 疾患別将来医療需要の動向 ア) 入院

さいたま市の入院疾患別一日当たりの患者数の動向

	入院												H22	H47
	H22年	構成比	H27年	構成比	H32年	構成比	H37年	構成比	H42年	構成比	H47年	構成比	増加数	増減率
合計(=1~21)	13,663	100.0%	15,809	100.0%	17,860	100.0%	19,644	100.0%	20,400	100.0%	20,736	100.0%	7,073	51.8%
1 感染症及び寄生虫症 (呼吸器、消化器等を含まない)	52	0.4%	60	0.4%	68	0.4%	75	0.4%	78	0.4%	80	0.4%	28	55.0%
2 新生物 (呼吸器、消化器等を含まない)	173	1.3%	193	1.2%	210	1.2%	223	1.1%	230	1.1%	235	1.1%	62	35.7%
3 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	166	1.2%	185	1.2%	202	1.1%	215	1.1%	222	1.1%	226	1.1%	59	35.5%
4 内分泌、栄養及び代謝疾患	294	2.2%	345	2.2%	394	2.2%	435	2.2%	452	2.2%	460	2.2%	166	56.3%
5 精神及び行動の障害	2,685	19.7%	2,878	18.2%	3,055	17.1%	3,197	16.3%	3,271	16.0%	3,279	15.8%	595	22.1%
6 神経系の疾患(新生物を含む)	1,015	7.4%	1,172	7.4%	1,321	7.4%	1,446	7.4%	1,494	7.3%	1,515	7.3%	500	49.3%
7 眼及び付属器の疾患 (新生物等を含む)	78	0.6%	90	0.6%	100	0.6%	108	0.5%	113	0.6%	117	0.6%	38	48.8%
8 耳及び乳様突起の疾患 (感染症、新生物を含む)	64	0.5%	71	0.4%	76	0.4%	80	0.4%	84	0.4%	86	0.4%	22	34.7%
9 循環器系の疾患	2,204	16.1%	2,703	17.1%	3,174	17.8%	3,598	18.3%	3,771	18.5%	3,855	18.6%	1,651	74.9%
高血圧性疾患	63	0.5%	81	0.5%	99	0.6%	117	0.6%	123	0.6%	124	0.6%	61	97.2%
心疾患	457	3.3%	558	3.5%	655	3.7%	744	3.8%	779	3.8%	797	3.8%	340	74.5%
脳血管疾患	1,555	11.4%	1,914	12.1%	2,251	12.6%	2,553	13.0%	2,677	13.1%	2,738	13.2%	1,182	76.0%
その他の循環器系の疾患	129	0.9%	150	0.9%	169	0.9%	184	0.9%	192	0.9%	197	0.9%	68	52.7%
10 呼吸器系の疾患 (感染症、新生物等を含む)	880	6.4%	1,044	6.6%	1,208	6.8%	1,355	6.9%	1,414	6.9%	1,442	7.0%	562	63.9%
11 消化器系の疾患 (感染症、新生物等を含む)	1,141	8.3%	1,309	8.3%	1,457	8.2%	1,577	8.0%	1,640	8.0%	1,679	8.1%	538	47.2%
12 皮膚及び皮下組織の疾患 (感染症、新生物等を含む)	112	0.8%	132	0.8%	151	0.8%	168	0.9%	175	0.9%	178	0.9%	66	59.0%
13 筋骨格系及び結合組織の疾患 (新生物、先天奇形等を含む)	1,282	9.4%	1,517	9.6%	1,744	9.8%	1,940	9.9%	2,015	9.9%	2,047	9.9%	765	59.6%
14 腎尿路生殖器系の疾患 (感染症、新生物等を含む)	615	4.5%	705	4.5%	785	4.4%	850	4.3%	882	4.3%	899	4.3%	284	46.1%
15 妊娠、分娩及び産じょく	234	1.7%	198	1.3%	187	1.0%	182	0.9%	175	0.9%	163	0.8%	-71	-30.2%
16 周産期に発生した病態	62	0.5%	48	0.3%	43	0.2%	41	0.2%	40	0.2%	38	0.2%	-24	-38.2%
17 先天奇形、変形及び染色体異常	8	0.1%	7	0.0%	7	0.0%	7	0.0%	7	0.0%	6	0.0%	-2	-21.3%
18 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	147	1.1%	173	1.1%	199	1.1%	222	1.1%	231	1.1%	236	1.1%	89	60.8%
19 損傷、中毒及びその他の外因の影響	194	1.4%	216	1.4%	236	1.3%	251	1.3%	258	1.3%	262	1.3%	68	35.1%
21 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	53	0.4%	61	0.4%	68	0.4%	74	0.4%	76	0.4%	77	0.4%	24	45.9%
再掲 新生物 (呼吸器、消化器等を含む)	1,354	5.9%	1,525	5.8%	1,666	5.6%	1,773	5.5%	1,842	5.5%	1,889	5.6%	535	39.5%

将来の入院疾患需要

平成22年から平成47年に向けて、入院疾患全体で51.8%の増加が予測されている。著しい増加が予測されている疾患は、神経系の疾患(500人)、脳血管疾患などの循環器系の疾患(1,651人)、呼吸器系の疾患(562人)、消化器系の疾患(538人)および筋骨格系等の疾患(765人)になっている。特に、循環器系の疾患が平成22年に対して平成47年では70%を超える増加が予測されている。がんなどの新生物(呼吸器系や消化器系の新生物を含む)の増加は約40%の増加が予測されている。

一方、緩やかな減少傾向が予測されているのは、妊娠・分娩および産じょく(234 163)、周産期に発生した病態(62 38)、先天奇形等(8 6)である。

左記一日当たりの患者数は、前頁の年齢階級別人口予測データに年齢階級別疾患別受療率(人口10万人当たりの疾患別患者数、厚生労働省患者調査平成20年、全国値)掛け合わせ、積算したものである。よって、平成22年のデータを含み実測値ではなく、推計値である。

分類はICD10(国際疾病分類第10版)小分類を元に、感染症、新生物等の疾患を臓器別に再集計している。なお、各数値は四捨五入処理をしているため、上記数値を元に増加率等を算出した場合、最低桁の数値が合致しない場合がある。

1. さいたま市の疾患別一日当たりの患者数の動向

参考資料

本編： 2. 医療需要の状況 疾患別将来医療需要の動向 イ) 外来

さいたま市の外来疾患別一日当たりの患者数の動向

	外来												H22 増加数	H47 増減率
	H22年	構成比	H27年	構成比	H32年	構成比	H37年	構成比	H42年	構成比	H47年	構成比		
合計 (=1-21)	69,994	100.0%	74,135	100.0%	78,140	100.0%	80,892	100.0%	82,429	100.0%	83,303	100.0%	13,309	19.0%
1 感染症及び寄生虫症 (呼吸器、消化器等を含まない)	138	0.2%	130	0.2%	126	0.2%	123	0.2%	121	0.1%	119	0.1%	-18	-13.4%
2 新生物 (呼吸器、消化器等を含まない)	424	0.6%	445	0.6%	463	0.6%	474	0.6%	479	0.6%	480	0.6%	56	13.3%
3 血液及び造血器の疾患並びに免疫機 構の障害	289	0.4%	297	0.4%	304	0.4%	305	0.4%	303	0.4%	302	0.4%	13	4.5%
4 内分泌、栄養及び代謝疾患	3,191	4.6%	3,523	4.8%	3,789	4.8%	3,981	4.9%	4,126	5.0%	4,225	5.1%	1,034	32.4%
5 精神及び行動の障害	2,212	3.2%	2,214	3.0%	2,237	2.9%	2,232	2.8%	2,199	2.7%	2,147	2.6%	-65	-2.9%
6 神経系の疾患(新生物を含む)	1,196	1.7%	1,279	1.7%	1,355	1.7%	1,405	1.7%	1,428	1.7%	1,440	1.7%	244	20.4%
7 眼及び付属器の疾患 (新生物等を含む)	2,431	3.5%	2,624	3.5%	2,793	3.6%	2,902	3.6%	2,961	3.6%	3,009	3.6%	578	23.8%
8 耳及び乳突突起の疾患 (感染症、新生物を含む)	1,209	1.7%	1,197	1.6%	1,221	1.6%	1,245	1.5%	1,263	1.5%	1,269	1.5%	61	5.0%
9 循環器系の疾患	7,182	10.3%	8,258	11.1%	9,147	11.7%	9,817	12.1%	10,241	12.4%	10,562	12.7%	3,379	47.0%
高血圧性疾患	4,892	7.0%	5,616	7.6%	6,214	8.0%	6,673	8.2%	6,969	8.5%	7,184	8.6%	2,292	46.9%
心疾患	998	1.4%	1,153	1.6%	1,281	1.6%	1,374	1.7%	1,432	1.7%	1,480	1.8%	482	48.3%
脳血管疾患	900	1.3%	1,058	1.4%	1,190	1.5%	1,287	1.6%	1,345	1.6%	1,393	1.7%	492	54.7%
その他の循環器系の疾患	393	0.6%	431	0.6%	463	0.6%	483	0.6%	495	0.6%	505	0.6%	113	28.7%
10 呼吸器系の疾患 (感染症、新生物等を含む)	6,501	9.3%	6,064	8.2%	5,934	7.6%	5,845	7.2%	5,775	7.0%	5,678	6.8%	-823	-12.7%
11 消化器系の疾患 (感染症、新生物等を含む)	13,311	19.0%	13,689	18.5%	14,069	18.0%	14,300	17.7%	14,405	17.5%	14,390	17.3%	1,079	8.1%
12 皮膚及び皮下組織の疾患 (感染症、新生物等を含む)	3,126	4.5%	3,111	4.2%	3,153	4.0%	3,157	3.9%	3,140	3.8%	3,105	3.7%	-20	-0.7%
13 筋骨格系及び結合組織の疾患 (新生物、先天奇形等を含む)	10,033	14.3%	11,233	15.2%	12,243	15.7%	12,912	16.0%	13,277	16.1%	13,562	16.3%	3,529	35.2%
14 腎尿路生殖器系の疾患 (感染症、新生物等を含む)	3,642	5.2%	3,800	5.1%	3,961	5.1%	4,063	5.0%	4,107	5.0%	4,109	4.9%	466	12.8%
15 妊娠、分娩及び産じょく	657	0.9%	552	0.7%	520	0.7%	504	0.6%	485	0.6%	452	0.5%	-205	-31.2%
16 周産期に発生した病態	27	0.0%	20	0.0%	19	0.0%	18	0.0%	17	0.0%	17	0.0%	-10	-38.2%
17 先天奇形、変形及び染色体異常	15	0.0%	12	0.0%	11	0.0%	11	0.0%	10	0.0%	10	0.0%	-5	-36.5%
18 症状、徴候及び異常臨床所見、異常 検査所見で他に分類されないもの	799	1.1%	831	1.1%	867	1.1%	889	1.1%	899	1.1%	902	1.1%	104	13.0%
19 損傷、中毒及びその他の外因の影響	1,330	1.9%	1,316	1.8%	1,321	1.7%	1,317	1.6%	1,303	1.6%	1,285	1.5%	-45	-3.4%
21 健康状態に影響を及ぼす要因及び保 健サービスの利用	5,101	7.3%	5,282	7.1%	5,461	7.0%	5,574	6.9%	5,647	6.9%	5,679	6.8%	579	11.3%
再 新生物 掲 (呼吸器、消化器等を含む)	2,016	1.6%	2,201	1.7%	2,352	1.7%	2,455	1.7%	2,515	1.7%	2,555	1.8%	539	26.8%

将来の外来疾患需要

平成22年から平成47年に向けて、消化器系の疾患および筋骨格系等の疾患は、1日1万件を超える需要が予測されている。

平成22年から平成47年に向けて、著しい増加が予測されている疾患は、脳血管疾患などの循環器系の疾患(3,379人、高血圧性疾患だけでも2,293人増)および筋骨格系等の疾患(3,529人)になっている。

特に、循環器系の疾患は47.0%(脳血管疾患は54.7%)、筋骨格系等の疾患は35.2%の増加が予測されている。

一方、入院疾患需要と同様に、緩やかな減少傾向が予測されているのは、妊娠・分娩および産じょく(657→452)、周産期に発生した病態(27→17)、先天奇形等(15→10)である。

また、呼吸器系の疾患は、入院では増加が予測されているが、外来では減少傾向と予測されている。(-12.7%)

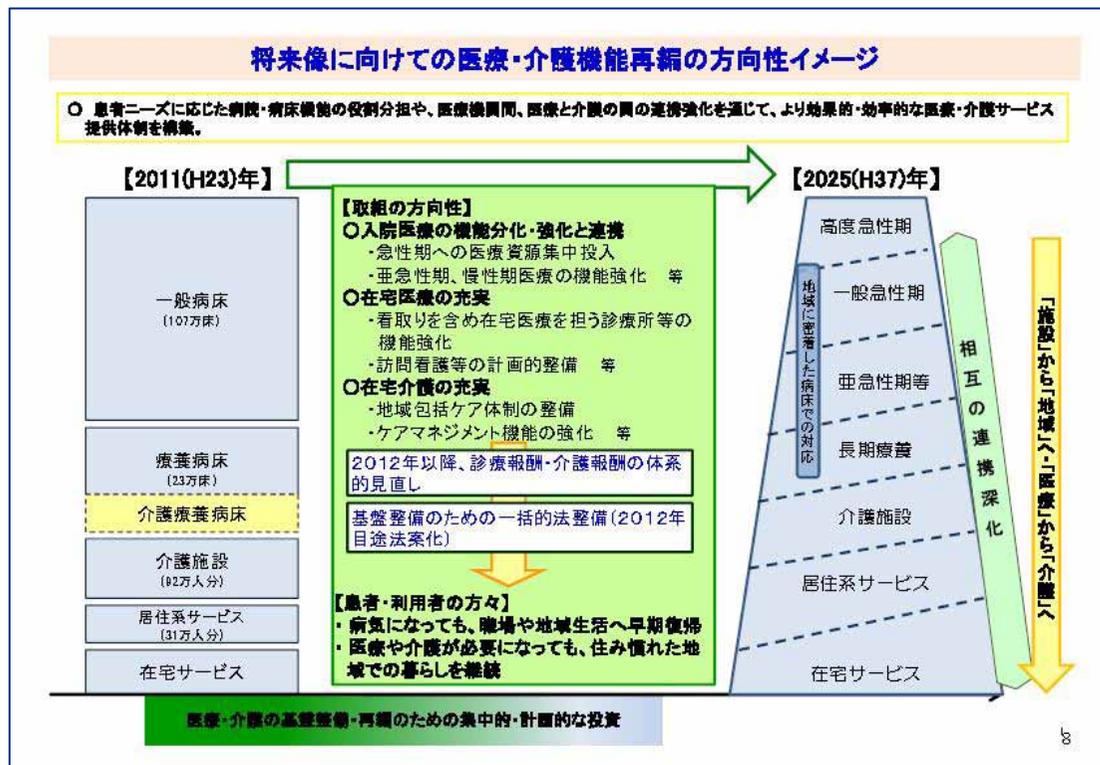
左記一日当たりの患者数は、前々頁の年齢階級別人口予測データに年齢階級別疾患別受療率(人口10万人当たりの疾患別患者数、厚生労働省患者調査平成20年、全国値)掛け合わせ、積算したものである。よって、平成22年のデータを含み実測値ではなく、推計値である。

分類はICD10(国際疾病分類第10版)小分類を元に、感染症、新生物等の疾患を臓器別に再集計している。なお、各数値は四捨五入処理をしているため、上記数値を元に増加率等を算出した場合、最低桁の数値が合致しない場合がある。

2. 今後の医療制度動向について: 政府・与党社会保障改革案より その1 . 参考資料

本編: . 3. 医療供給の状況 さいたま市立病院を取り巻く環境

● 将来像に向けての医療・介護機能再編の方向性イメージ



- 政府・与党の社会保障改革のイメージによれば、今後の取組みの方向性として、入院医療の機能分化・強化と連携、在宅医療の充実、在宅介護の充実が挙げられている。
- 急性期病床については、平成23年の一般病床107万床を、平成37年までに「高度急性期」・「一般急性期」・「亜急性期等」などと病床を現状以上に細分化していくこととされている。

対応するためには

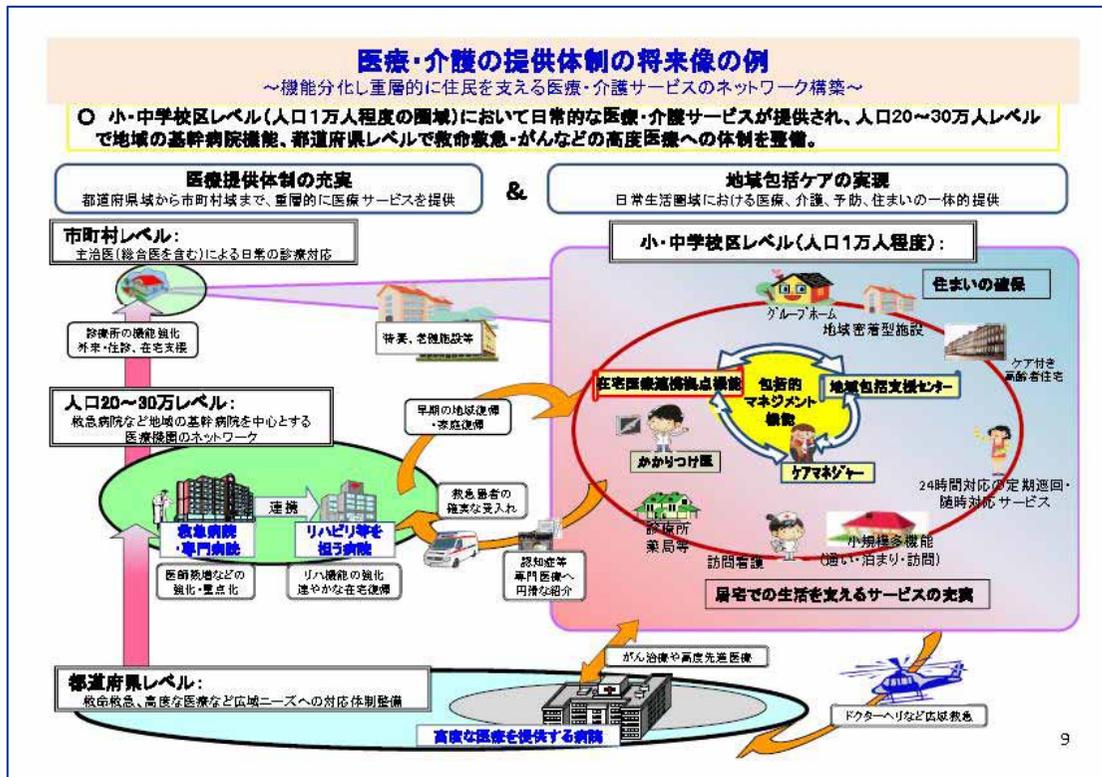
- 今後、診療報酬体系の改訂と医療法制の改正によって医療機関のグループ分け・誘導が急速に進むと考えられる。
- 病院として、診療体制像を明確にするとともに、各種の政策方針や診療報酬改正への対応を着実に進めていくことが望まれる。

図出典 政府・与党社会保障改革検討本部
第1回成案決定会合 平成23年6月資料
社会保障改革の具体策、工程及び費用試算

2. 今後の医療制度動向について: 政府・与党社会保障改革案より その2 . 参考資料

本編: 3. 医療供給の状況 さいたま市立病院を取り巻く環境

●医療・介護の提供体制の将来像の例



- 医療・介護の提供の将来像として、都道府県レベルで救命救急、高度な医療を、人口20万~30万レベルで救急病院など地域の基幹病院を中心とする医療機関ネットワークが重層的に支えて行くというイメージが挙げられている。
- 救急病院・専門病院とリハビリ等を担う病院の連携ネットワークは、人口20万~30万レベル単位にて整備される方針(平成22年12月現在のさいたま市人口は123万人)。
- なお、日常生活圏域においては、人口1万人程度単位で地域包括ケアの実現により、医療、介護、予防、住まいの一体的提供が謳われている。

対応するためには

- 本改革案のイメージする人口比率を考慮すると、さいたま市には救急・専門病院が4~6施設の規模が妥当と推察される。
- 地域におけるリハビリ等を担う病院との連携ネットワークの強化を図ることで、さいたま市における救急病院・専門病院としての存在感と立ち位置を強化しておくことが望まれる。

図出典 政府・与党社会保障改革検討本部
 第1回成案決定会合 平成23年6月資料
 社会保障改革の具体策、工程及び費用試算

3. 医療機関リスト 1/5

本編： 3. 医療供給の状況 近隣医療機関の分布

さいたま市立病院周辺の病院リスト

	種別	病院名	病床数	診療科目
1	救臨	さいたま市立病院	567	内、消内、精、神内、循内、小、新内、外、整外、脳外、心外、小外、皮、泌、産、眼、耳、放、麻、救
2	救臨	埼玉社会保険病院	439	内、外、小、整、皮、泌、麻、産婦、眼、耳、精、神、放、脳、形、リウ、心療、循、神内
3		医療法人石川病院	23	産、婦、形、美
4	救	医療法人川久保病院	39	外、胃、整、リハ
5		医療法人社団望星会 望星病院	59	泌、内
6	救療	医療法人博仁会 共済病院	130	内、外、整、循内、消内、呼内、糖内、内視内、消外、乳外、内視外、肛外、婦、皮
7		医療法人社団弘象会 東和病院	48	外、整、麻、リハ、内、リウ
8		聖(しょう)みどり病院	120	精、神、心療
9		医療法人有隣会 わかくさ病院	29	内、消内、小、皮、循内
10		医療法人白翔会 浦和神経サナトリウム	265	精

出典：「埼玉県 医療機能情報提供システム (平成23年6月1日時点)」より

種別： 特：特定機能病院、支：地域医療支援病院、救：救急病院、療：療養病床を有する病院、臨：臨床研修病院(歯科除く)

なお、診療科目の略語の説明は、次ページを参照。

3. 医療機関リスト 2/5

本編： 3. 医療供給の状況 近隣医療機関の分布

さいたま市立病院周辺の病院リスト

	種別	病院名	病床数	診療科目
11	救	医療法人秋葉病院	59	脳, 外, 胃, 神内, 内
12	救療	医療法人聖仁会 西部総合病院	268	内, 小, 外, 整, 麻, 脳, 呼, 消, 循, 皮, 耳, 形, 肛, 泌, リ八, 眼, 美, 救
13	療	医療法人栄寿会林病院	130	内, リ八
14	救臨	医療法人社団松弘会 三愛病院	126	内, 循内, 外, 整, 形, 脳, 泌, 放, 消内, 消外, 麻, リ八, 歯, 呼外, リウ, 心外, 皮
15	救臨	さいたま赤十字病院	605	内, 精, 神内, 呼, 消, 循, 小, 外, 整, 呼外, 脳, 皮, 泌, 心外, 産婦, 眼, 耳, 麻, リ八, 放, 形, 緩ケ内
16	臨	社会福祉法人シナプス 埼玉精神神経センター	361	精, 神内, 内, 歯, リ八
17	救	宇治病院	50	内, 外, 整, 精, 肛, 消, 循
18		橋本病院	39	外, 耳, 整, 胃, 消, 皮, 泌, アレ, 心療
19	救療	医療法人社団双愛会 大宮双愛病院	90	内, 外, 小, 胃, 放, 整, 肛, 麻, 泌, 循
20	救	医療法人明浩会 西大宮病院	143	内, 外, 循, 皮, 泌, 脳, 消, 整, 放, 麻, 形, リ八, アレ, リウ, 眼, 美

出典：「埼玉県 医療機能情報提供システム（平成23年6月1日時点）」より

診療科目：

内：内科、心療：心療内科、消内：消化器内科、精：精神科、神：神経科、神内：神経内科、呼：呼吸器科、消：消化器科、胃：胃腸科、循：循環器科、アレ：アレルギー科、リウ：リウマチ科、循内：循環器内科、小：小児科、新内：新生児内科、外：外科、整外：整形外科、形：形成外科、脳外：脳神経外科、美：美容外科、呼外：呼吸器外科、心外：心臓血管外科、小外：小児外科、皮：皮膚科、泌：泌尿器科、産婦：産婦人科、産：産科、婦：婦人科、眼：眼科、耳：耳鼻咽喉科、気：気管食道科、リ八：リハビリテーション科、放：放射線科、歯：歯科、小歯：小児歯科、矯歯：矯正歯科、歯外：歯科口腔外科、麻：麻酔科、救：救命救急科

3. 医療機関リスト 3/5

本編： 3. 医療供給の状況 近隣医療機関の分布

さいたま市立病院周辺の病院リスト

	種別	病院名	病床数	診療科目
21	救	至誠堂富田病院	130	内, 精, 小, 心療
22	救	野中病院	48	外, 整, 内, 胃, 肛, 小, 皮, リ八, 放, 脳
23	救臨	自治医科大学附属 さいたま医療センター	608	内, 外, 泌, 心外, 脳, 放, 麻, 耳, 眼, リ八, 整, 歯外, 皮, 循, 小, 産婦
24	救	社会保険大宮総合病院	163	内, 小, 泌, 外, 皮, 耳, 婦, 眼, 放, 整, 麻, 循, 神内, 形, 歯外, 呼内, 消内
25	救	医療法人ヘブロン会 大宮中央総合病院	266	内, 外, 小, 産婦, 耳, 整, 眼, 泌, 皮, 歯, 肛, 精, 脳, 麻, 放, 歯外
26		医療法人社団輔仁会 大宮厚生病院	341	精, 神
27	療	大和田病院	91	内
28	療	大宮共立病院	427	内, リ八, 神内, 歯, 放, 歯外, 皮, 精
29	救臨	医療法人社団協友会 東大宮総合病院	317	外, 整, 内, 眼, リ八, 形, 脳, 泌, 耳, 皮, 歯外, 放, 麻, 循内, 消内, 呼内, 糖代内, 消外, 肛外, 病理, リウ, 神内, 乳外
30	救療	医療法人一成会 さいたま記念病院	232	内, 外, 整, 脳, 皮, 泌, 耳, 放, 眼, 消, 循, 肛, リ八, 呼, リウ

出典：「埼玉県 医療機能情報提供システム (平成23年6月1日時点)」より

3. 医療機関リスト 4/5

本編： 3. 医療供給の状況 近隣医療機関の分布

さいたま市立病院周辺の病院リスト

	種別	病院名	病床数	診療科目
31		医療法人社団恵仁会 与野中央病院	167	精, 神
32	救	医療法人財団 さいたま市民医療センター	340	内, 外, 循内, 消内, 呼内, 糖, 内泌内, 血内, 消外, 乳内泌外, 脳, 整, 小, 放, 病理, リハ, アレ, 内(化), 外(化), 麻, 神内, 女内, 腎内
33	救	指扇病院	140	内, 消, 外, 整, 放, 呼, 循, 肛, 歯, 皮, 耳, 泌, 脳
34	療	指扇外科病院	104	外, 整, 内, 小, 皮, 肛, 消, 麻
35	療	指扇療養病院	326	内, 皮, リハ
36	救	丸山記念総合病院	241	内, 外, 小, 整, 脳, 麻, 放, 消, 循, 皮, 泌, 気, 呼, 眼, 耳, 形, 精, 胃, 歯, 神内, リハ, 産婦, 歯外
37	救	医療法人社団幸正会 岩槻南病院	24	内, 循
38	救療	岩槻中央病院	121	内, 外, 整, 放, 皮, 循, 脳, リハ, 胃, 肛
39	支臨	埼玉県立 小児医療センター	300	小, 小歯, 精, 小外, 消, 循, 整, 形, 脳, 皮, 泌, 婦, 眼, 耳, 放, 麻, 心外, リハ, アレ, 小外, 病理
40	療	医療法人ひかり会 クリニカル病院	168	内, リハ

出典：「埼玉県 医療機能情報提供システム (平成23年6月1日時点)」より 9

3. 医療機関リスト 5/5

本編： 3. 医療供給の状況 近隣医療機関の分布

さいたま市立病院周辺の病院リスト

	種別	病院名	病床数	診療科目
41	救臨	川口市立医療センター	539	内, 小, 精, 外, 脳, 整, 産婦, 眼, 耳, 皮, 泌, 放, 麻, 齒外, リハ, 循, 形
42	救療	医療法人安東病院	99	内, 外, 整, 循内, リハ, 肛外, 消外, 乳外
43	救	医療法人健仁会益子病院	145	内, 外, 呼, 整, 放, 皮, 小, 循, 麻, 胃, 肛, 脳, リハ, 形, 心 外, 呼外, 気, アレ, リウ, 泌
44	救	医療法人社団協友会東川口病院	198	内, 小, 耳, 外, 整, 皮, 脳, 循, 泌, 呼, 胃, リハ
45	救療臨	埼玉協同病院	401	内, 小, 外, 整, 呼, 消, 循, 放, 脳, 皮, 麻, 精, 産婦, 神内, 眼, リハ, 耳, 泌
46	救	川口さくら病院	240	精, 内
47	療	財団法人鳩ヶ谷中央病院	79	内, 呼, 消, 循
48	救療	医療法人あかつき会はとがや病院	198	内, リハ, 整, 眼, 皮, 消, 循, 呼
49	療	医療法人社団敬寿会浅野病院	60	内, 胃内, 消内, 循内, 内視内
50	救	蕨市立病院	130	内, 小, 外, 整, 産婦, 眼, 耳, 放

4 . DPC制度の概要と基本的な考え方 その1

本編： . 4 . 地域医療における市立病院の役割 急性期医療

- DPC 制度(DPC/PDPS)は、急性期入院医療を対象とした診療報酬の包括評価支払い制度であり、従来の出来高評価制度とは異なる制度として、平成15年度に導入された。
- DPC/PDPS の対象病院は平成15年度に特定機能病院を皮切りに順次拡大され、平成22年7月1日現在で1,391 病院となっている。

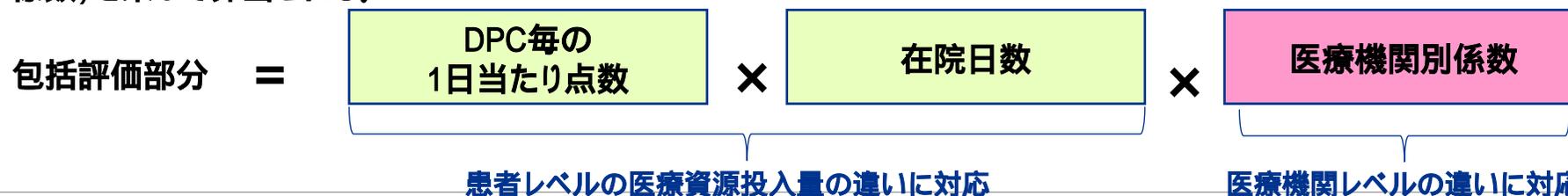
診療報酬の設定方法

- 診療報酬の額は、DPC(診断群分類)毎に設定される包括評価部分と出来高評価部分の合計額となる。



包括評価部分の設定方法

- 包括評価部分は、DPC毎の1日当たり点数(3段階の逓減設定)に在院日数と医療機関ごとに設定された係数(医療機関別係数)を乗じて算出される。



4 . DPC制度の概要と基本的な考え方 その2

本編： . 4 . 地域医療における市立病院の役割 急性期医療

●医療機関別係数

医療機関別係数は調整係数、機能評価係数、機能評価係数の合計。

それぞれの医療機関の設備・体制や診療機能等、医療機関固有の特性を反映させることとなっている。

$$\text{医療機関別係数} = \text{調整係数} + \text{機能評価係数} + \text{機能評価係数}$$

医療機関別係数	内容
調整係数	円滑なDPC制度の導入のために、制度変更に伴う激変緩和措置として、前年度の出来高診療報酬算定実績を反映し補正するため、経過措置として設定。 今後は「機能評価係数」へ置き変わる方向性。
機能評価係数	当該医療機関に入院する全ての入院患者に提供される医療や地域として必要な機能の整備と提供に関するもので、病院機能に係るものが係数化されている。 例えば看護師配置(7対1、10対1など)等の人員配置に関するものや、診療録管理体制加算・医療安全対策加算などがある。

出典 厚生労働省：中央社会保険医療協議会DPC評価分科会資料(平成22年10月26日、11月24日)を参考に整理

4 . DPC制度の概要と基本的な考え方 その3 (続 機能評価係数)

参考資料

本編： . 4 . 地域医療における市立病院の役割 急性期医療

医療機関別係数		内容
機能評価係数	データ提出係数	対象病院における詳細な診療データの作成・提出に要する体制等について評価。 DPC調査データの提出に遅延などした場合はペナルティとして減算評価。
	効率性係数	平均在院日数の変動に伴う病棟業務量の増減について、患者の疾病構造の違いを全DPC病院データを用いて補正した在院日数の相対値により評価。 同じ傷病を治療する場合の平均在院日数が短いと、この係数が高くなる。
	複雑性係数	対象病院で実施している診療の複雑さについて、対象病院における一入院当たり包括点数の相対値により評価。 難易度の高い診療を実施している病院では高くなる。
	カバー率係数	様々な疾患に対応できる診断群分類の広がり(種類の多さ)を評価する係数。 いわゆる総合病院では高く、専門病院では低くなる。
	地域医療係数	地域医療への貢献を評価した係数。 「脳卒中地域連携」/ 「がん地域連携」/ 「地域がん登録」/ 「救急医療」 / 「災害時における医療」/ 「へき地の医療」/ 「周産期医療」の各項目について、地域医療との連携状況が評価される。
	救急医療係数	包括点数では評価が困難な救急入院初期の検査等について、救急患者に占める割合により評価した係数。緊急入院患者と全入院患者の入院2日目までの包括範囲の費用の差額を、医療機関ごとに診断群分類及び救急患者の数に応じて評価している。

5. 埼玉県内DPC病院の機能評価係数

1/3

参考資料

本編: 4. 地域医療における市立病院の役割

急性期医療

埼玉県内のDPC病院の機能評価係数 の一覧 (さいたま市立病院以外は、機能評価係数 の合計値の高い順に掲載)

番号	病院名	機能評価 係数 合 計	内訳					
			データ提出 係数	効率性係数	複雑性係数	カバー率係数	地域医療係数	救急医療係数
1	さいたま市立病院	0.0297	0.0039	0.0053	0.0039	0.0052	0.0034	0.0080
2	自治医科大学附属 さいたま医療センター	0.0335	0.0039	0.0075	0.0054	0.0060	0.0045	0.0062
3	埼玉医科大学国際医療センター	0.0319	0.0039	0.0050	0.0075	0.0052	0.0045	0.0058
4	埼玉医科大学総合医療センター	0.0297	0.0039	0.0034	0.0046	0.0067	0.0056	0.0055
5	さいたま赤十字病院	0.0285	0.0039	0.0046	0.0045	0.0056	0.0045	0.0054
6	医療法人社団東光会 戸田中央総合病院	0.0274	0.0039	0.0052	0.0038	0.0045	0.0034	0.0066
7	埼玉医科大学病院	0.0272	0.0039	0.0026	0.0037	0.0062	0.0045	0.0063
8	医療法人社団 朝霞台中央総合病院	0.0267	0.0039	0.0041	0.0041	0.0028	0.0034	0.0084
9	川口市立医療センター	0.0260	0.0039	0.0036	0.0033	0.0043	0.0045	0.0064
10	医療法人 豊仁会 三井病院	0.0254	0.0039	0.0040	0.0034	0.0009	0.0034	0.0098
11	社会福祉法人恩賜財団 埼玉県済生会川口総合病院	0.0249	0.0039	0.0052	0.0024	0.0040	0.0056	0.0038
12	医療法人至仁会 圏央所沢病院	0.0247	0.0039	0.0009	0.0075	0.0006	0.0022	0.0096
13	深谷赤十字病院	0.0246	0.0039	0.0036	0.0038	0.0036	0.0045	0.0052
14	医療法人財団 明理会 イムス富士見総合病院	0.0246	0.0039	0.0050	0.0021	0.0009	0.0022	0.0105
15	医療法人社団 愛友会 三郷中央総合病院	0.0240	0.0039	0.0018	0.0039	0.0015	0.0034	0.0095
16	社会医療法人財団 石心会 狭山病院	0.0239	0.0039	0.0034	0.0035	0.0031	0.0011	0.0089
17	医療法人社団 新座志木中央総合病院	0.0239	0.0039	0.0037	0.0034	0.0021	0.0034	0.0074
18	医療法人社団 協友会 東川口病院	0.0238	0.0039	0.0025	0.0052	0.0008	0.0022	0.0092
19	医療法人 壮幸会 行田総合病院	0.0236	0.0037	0.0045	0.0013	0.0021	0.0034	0.0086
20	獨協医科大学越谷病院	0.0233	0.0039	0.0043	0.0026	0.0062	0.0034	0.0029

国の方針により、急性期病院は、DPCに基づく包括評価制度(注)へと移行しており、さいたま市内には、さいたま市立病院を含めて7件のDPC病院がある。

急性期病院としての医療機能の高さの指標である機能評価係数では、さいたま市立病院は市内7病院中で2位、県内のDPC59病院中でも3位の高水準だった。

出典:平成23年3月17日付厚生労働省告示第57号

5. 埼玉県内DPC病院の機能評価係数

本編: 4. 地域医療における市立病院の役割

2/3

急性期医療

参考資料

番号	病院名	機能評価 係数 合 計	内訳					
			データ提出 係数	効率性係数	複雑性係数	カバー率係数	地域医療係数	救急医療係数
21	防衛医科大学校病院	0.0232	0.0037	0.0057	0.0025	0.0047	0.0034	0.0032
22	社会医療法人ジャパンメディカルアライ アンス東埼玉総合病院	0.0228	0.0039	0.0045	0.0037	0.0014	0.0022	0.0071
23	医療法人 三愛会総合病院	0.0228	0.0039	0.0058	0.0024	0.0010	0.0034	0.0063
24	春日部市立病院	0.0227	0.0039	0.0051	0.0019	0.0024	0.0022	0.0072
25	越谷誠和病院	0.0222	0.0039	0.0009	0.0056	0.0008	0.0022	0.0088
26	医療法人社団愛友会 上尾中央総合病院	0.0222	0.0039	0.0026	0.0025	0.0051	0.0034	0.0047
27	医療法人社団協友会 東大宮総合病院	0.0221	0.0039	0.0029	0.0038	0.0016	0.0034	0.0065
28	草加市立病院	0.0218	0.0039	0.0045	0.0026	0.0035	0.0022	0.0051
29	医療法人財団明理会 春日部中央総合病院	0.0217	0.0039	0.0039	0.0025	0.0022	0.0034	0.0058
30	医療法人財団 健和会 みさと健和病院	0.0216	0.0039	0.0051	0.0024	0.0025	0.0011	0.0066
31	埼玉社会保険病院	0.0209	0.0039	0.0037	0.0042	0.0036	0.0022	0.0033
32	独立行政法人国立病院機構埼玉病院	0.0209	0.0039	0.0044	0.0020	0.0037	0.0022	0.0047
33	秀和総合病院	0.0206	0.0039	0.0063	0.0023	0.0019	0.0022	0.0040
34	医療法人 社団 明芳会 イムス三芳 総合病院	0.0206	0.0039	0.0021	0.0019	0.0008	0.0034	0.0085
35	医療法人 一心会 伊奈病院	0.0204	0.0039	0.0024	0.0050	0.0008	0.0034	0.0049
36	医療法人 道心会 埼玉東部循環器病 院	0.0204	0.0039	0.0077	0.0010	0.0002	0.0011	0.0065
37	医療法人 新青会 川口工業総合病院	0.0202	0.0039	0.0024	0.0035	0.0014	0.0034	0.0056
38	社会福祉法人恩賜財団済生会支部埼 玉県済生会栗橋病院	0.0200	0.0039	0.0041	0.0022	0.0027	0.0022	0.0049
39	越谷市立病院	0.0199	0.0039	0.0038	0.0024	0.0039	0.0022	0.0037
40	埼玉協同病院	0.0199	0.0039	0.0030	0.0037	0.0029	0.0022	0.0042

出典:平成23年3月17日付厚生労働省告示第57号

5. 埼玉県内DPC病院の機能評価係数

本編: 4. 地域医療における市立病院の役割

3/3

急性期医療

参考資料

番号	病院名	機能評価 係数 合計	内訳					
			データ提出 係数	効率性係数	複雑性係数	カバー率係数	地域医療係数	救急医療係数
41	社会保険大宮総合病院	0.0198	0.0039	0.0055	0.0022	0.0012	0.0011	0.0059
42	北里大学北里研究所メディカルセンター病院	0.0195	0.0039	0.0036	0.0033	0.0032	0.0022	0.0033
43	医療法人社団 協友会 八潮中央総合病院	0.0189	0.0039	0.0020	0.0044	0.0011	0.0034	0.0041
44	医療法人 武蔵野総合病院	0.0180	0.0039	0.0013	0.0054	0.0007	0.0022	0.0045
45	医療法人一心会 蓮田一心会病院	0.0179	0.0039	0.0035	0.0023	0.0002	0.0022	0.0058
46	医療法人社団 哺育会 白岡中央総合病院	0.0176	0.0039	0.0020	0.0037	0.0010	0.0022	0.0048
47	埼玉県立循環器・呼吸器病センター	0.0175	0.0039	0.0041	0.0041	0.0012	0.0011	0.0031
48	埼玉県厚生農業協同組合連合会 久喜総合病院	0.0173	0.0039	0.0045	0.0008	0.0007	0.0034	0.0040
49	独立行政法人国立病院機構 西埼玉中央病院	0.0172	0.0039	0.0032	0.0023	0.0025	0.0022	0.0031
50	医療法人社団 協友会 吉川中央総合病院	0.0171	0.0039	0.0019	0.0027	0.0006	0.0022	0.0058
51	医療法人 関越病院	0.0171	0.0039	0.0007	0.0047	0.0012	0.0011	0.0055
52	医療法人慈正会 丸山記念総合病院	0.0167	0.0039	0.0038	0.0014	0.0016	0.0022	0.0038
53	埼玉医療生活協同組合 羽生総合病院	0.0167	0.0039	0.0013	0.0034	0.0015	0.0011	0.0055
54	医療法人 埼玉成恵会病院	0.0159	0.0039	0.0000	0.0033	0.0013	0.0011	0.0063
55	医療法人社団 尚篤会 赤心堂病院	0.0148	0.0039	0.0020	0.0012	0.0021	0.0011	0.0045
56	埼玉県厚生農業協同組合連合会 熊谷総合病院	0.0148	0.0039	0.0005	0.0025	0.0021	0.0022	0.0036
57	医療法人社団 誠弘会 池袋病院	0.0147	0.0039	0.0006	0.0043	0.0001	0.0022	0.0036
58	医療法人 土屋小児病院	0.0146	0.0037	0.0077	0.0000	0.0001	0.0011	0.0020
59	埼玉慈恵病院	0.0139	0.0039	0.0001	0.0037	0.0006	0.0011	0.0045

出典:平成23年3月17日付厚生労働省告示第57号

6. 疾患別の取扱い状況 ～ 他院の状況 ～

参考資料

本編： 4. 地域医療における市立病院の役割 急性期医療

DPCの取扱い件数と、市内のDPC7病院内における取扱い割合

疾患別取扱い割合では、さいたま市立病院は、呼吸器系、消化器系、皮膚系、新生児系、小児系で1位、耳鼻咽喉系、腎・尿路系、女性生殖器系、外傷系で2位となるなど、各疾患で高い割合を占めている。他院では、眼科系ではさいたま赤十字病院、耳鼻咽喉系では自治医科大学附属さいたま医療センターなど、疾患別に取扱い割合が顕著に高い病院が確認される。(表では、さいたま市立病院の取扱い割合が1位、2位の疾患と、他院では取扱い割合が30%以上の項目を赤枠表記)

取扱い件数(月間)		01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	合計
		神経系	眼科系	耳鼻咽喉系	呼吸器系	循環器系	消化器系	筋骨格系	皮膚系	乳房系	内分泌系	腎・尿路系	女性生殖器系	血液系	新生児系	小児系	外傷系	精神系	その他	
1	さいたま市立病院	57.2	0.0	37.3	106.8	87.2	245.2	36.0	9.0	2.7	20.3	81.7	75.8	21.7	32.8	15.0	45.5	0.0	15.8	890.0
2	埼玉社会保険病院	19.7	41.0	11.3	72.0	14.7	151.2	61.0	4.5	15.5	35.2	99.2	58.5	6.0	2.5	10.0	33.8	4.5	13.0	653.5
3	自治医科大学附属さいたま医療センター	53.5	65.7	55.2	78.5	191.5	240.8	33.3	7.0	15.2	27.7	65.7	72.8	26.3	14.5	8.2	26.7	0.0	13.2	995.7
4	さいたま赤十字病院	67.2	140.7	4.3	106.0	133.8	206.5	61.0	3.3	24.8	16.5	70.0	86.5	32.5	17.8	4.5	95.8	0.0	17.8	1,089.2
5	社会保険大宮総合病院	10.2	18.5	3.3	29.5	12.3	59.3	1.7	0.0	0.0	8.3	37.0	0.0	2.5	0.0	3.7	0.0	0.0	2.2	188.5
6	医療法人慈正会 丸山記念総合病院	11.7	18.8	8.5	27.8	11.0	97.3	10.0	2.5	7.8	12.0	21.2	46.5	5.0	10.3	5.3	14.8	0.0	3.5	314.2
7	医療法人社団協友会 東大宮総合病院	19.7	12.5	12.5	19.2	44.3	77.0	8.3	0.0	2.7	4.5	27.0	0.0	3.8	0.0	3.7	23.2	0.0	6.2	264.5
市内取扱い件数合計		239.0	297.2	132.5	439.8	494.8	1,077.3	211.3	26.3	68.7	124.5	401.7	340.2	97.8	78.0	50.3	239.8	4.5	71.7	4,395.5

市内7病院内の取扱い割合		神経系	眼科系	耳鼻咽喉系	呼吸器系	循環器系	消化器系	筋骨格系	皮膚系	乳房系	内分泌系	腎・尿路系	女性生殖器系	血液系	新生児系	小児系	外傷系	精神系	その他	全体
1	さいたま市立病院	23.9%	0.0%	28.2%	24.3%	17.6%	22.8%	17.0%	34.2%	3.9%	16.3%	20.3%	22.3%	22.1%	42.1%	29.8%	19.0%	0.0%	22.1%	20.2%
2	埼玉社会保険病院	8.2%	13.8%	8.6%	16.4%	3.0%	14.0%	28.9%	17.1%	22.6%	28.2%	24.7%	17.2%	6.1%	3.2%	19.9%	14.1%	100.0%	18.1%	14.9%
3	自治医科大学附属さいたま医療センター	22.4%	22.1%	41.6%	17.8%	38.7%	22.4%	15.8%	26.6%	22.1%	22.2%	16.3%	21.4%	26.9%	18.6%	16.2%	11.1%	0.0%	18.4%	22.7%
4	さいたま赤十字病院	28.1%	47.3%	3.3%	24.1%	27.0%	19.2%	28.9%	12.7%	36.2%	13.3%	17.4%	25.4%	33.2%	22.9%	8.9%	40.0%	0.0%	24.9%	24.8%
5	社会保険大宮総合病院	4.3%	6.2%	2.5%	6.7%	2.5%	5.5%	0.8%	0.0%	0.0%	6.7%	9.2%	0.0%	2.6%	0.0%	7.3%	0.0%	0.0%	3.0%	4.3%
6	医療法人慈正会 丸山記念総合病院	4.9%	6.3%	6.4%	6.3%	2.2%	9.0%	4.7%	9.5%	11.4%	9.6%	5.3%	13.7%	5.1%	13.2%	10.6%	6.2%	0.0%	4.9%	7.1%
7	医療法人社団協友会 東大宮総合病院	8.2%	4.2%	9.4%	4.4%	9.0%	7.1%	3.9%	0.0%	3.9%	3.6%	6.7%	0.0%	3.9%	0.0%	7.3%	9.7%	0.0%	8.6%	6.0%
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

さいたま市立病院順位	2	-	2	1	3	1	3	1	5	3	2	2	3	1	1	2	-	2	3
------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

出典：「厚生労働省 中央社会保険医療協議会診療報酬調査専門組織(DPC評価分科会)平成22年6月30日付資料」より作成

データは、平成21年7～12月の各医療機関から提出されたDPC症例データに基づいており、本書資料は、その公開データを月間換算等して表示している。なお、公開データにおいては、集計各項目の合計件数が10件以下の場合には、集計件数から除外されている。また、データ性格上、DPC対象外の疾患、外来等は含まれておらず、さいたま市外からの来院患者も含んでいる点に注意されたい。

7. がん医療

本編： 5. 特定の医療機能における市立病院の役割

5大がんの診療体制

医療機関	肺がん				胃がん				肝がん		大腸がん				乳がん			
	手術療法	胸腔鏡下肺悪性腫瘍摘出術	化学療法	放射線療法	手術療法	腹腔鏡下胃悪性腫瘍手術	化学療法	放射線療法	手術療法	化学療法	手術療法	腹腔鏡下大腸悪性腫瘍手術	化学療法	人工肛門管理	乳腺専門医(有限責任中間法人日本乳癌学会)	手術療法	化学療法	放射線療法
病院数	6	7	11	5	16	9	13	5	11	12	15	11	13	20	5	13	11	4
さいたま市立病院																		
さいたま赤十字病院																		
埼玉社会保険病院																		
自治医科大学附属さいたま医療センター																		
医療法人社団松弘会 三愛病院																		
埼玉県立小児医療センター																		
さいたま市民医療センター																		
社会保険大宮総合病院																		
医療法人社団 協友会 東大宮総合病院																		
医療法人聖仁会 西部総合病院																		
医療法人博仁会 共済病院																		
丸山記念総合病院																		
医療法人 有隣会 わかくさ病院																		
医療法人ヘブロン会大宮中央総合病院																		
医療法人社団金石会 指扇外科病院																		
医療法人社団弘象会 東和病院																		
医療法人社団誠恵会野中病院																		
医療法人社団双愛会 大宮双愛病院																		
医療法人秋葉病院																		
医療法人川久保病院																		
医療法人明浩会 西大宮病院																		
岩槻中央病院																		
大宮共立病院																		

出典：「埼玉県 医療機能情報提供システム (平成23年6月1日時点)」より

7. がん医療

本編： 5. 特定の医療機能における市立病院の役割

医療機関	放射線療法					外来化学療法	緩和医療			がん診療連携拠点病院
	体外照射	ガンマナイフによる低位放射線治療	直接加速器による定位放射線治療	密封小線源照射	術中照射		硬膜外ブロックにおける麻酔剤の持続注入	医療用麻薬におけるがん疼痛治療	緩和的放射線療法	
病院数	4	1	1	0	0	15	16	16	4	2
さいたま市立病院										
さいたま赤十字病院										
埼玉社会保険病院										
自治医科大学附属さいたま医療センター										
医療法人社団松弘会 三愛病院										
埼玉県立小児医療センター										
さいたま市民医療センター										
社会保険大宮総合病院										
医療法人社団 協友会 東大宮総合病院										
医療法人聖仁会 西部総合病院										
医療法人博仁会 共済病院										
丸山記念総合病院										
医療法人 有隣会 わかくさ病院										
医療法人ヘブロン会大宮中央総合病院										
医療法人一成会 さいたま記念病院										
医療法人栄寿会 林病院										
医療法人社団金石会 指扇外科病院										
医療法人社団弘象会 東和病院										
医療法人社団双愛会 大宮双愛病院										
医療法人秋葉病院										
医療法人川久保病院										
医療法人明浩会 西大宮病院										
岩槻中央病院										
至誠堂富田病院										
大宮共立病院										
指扇病院										

がんに対する診療体制

さいたま市立病院は、5大がんに対して手術、化学、放射線療法、腔鏡下の悪性腫瘍摘出術の全ての療法で対応できる体制が整っている。
(前ページ表参照)

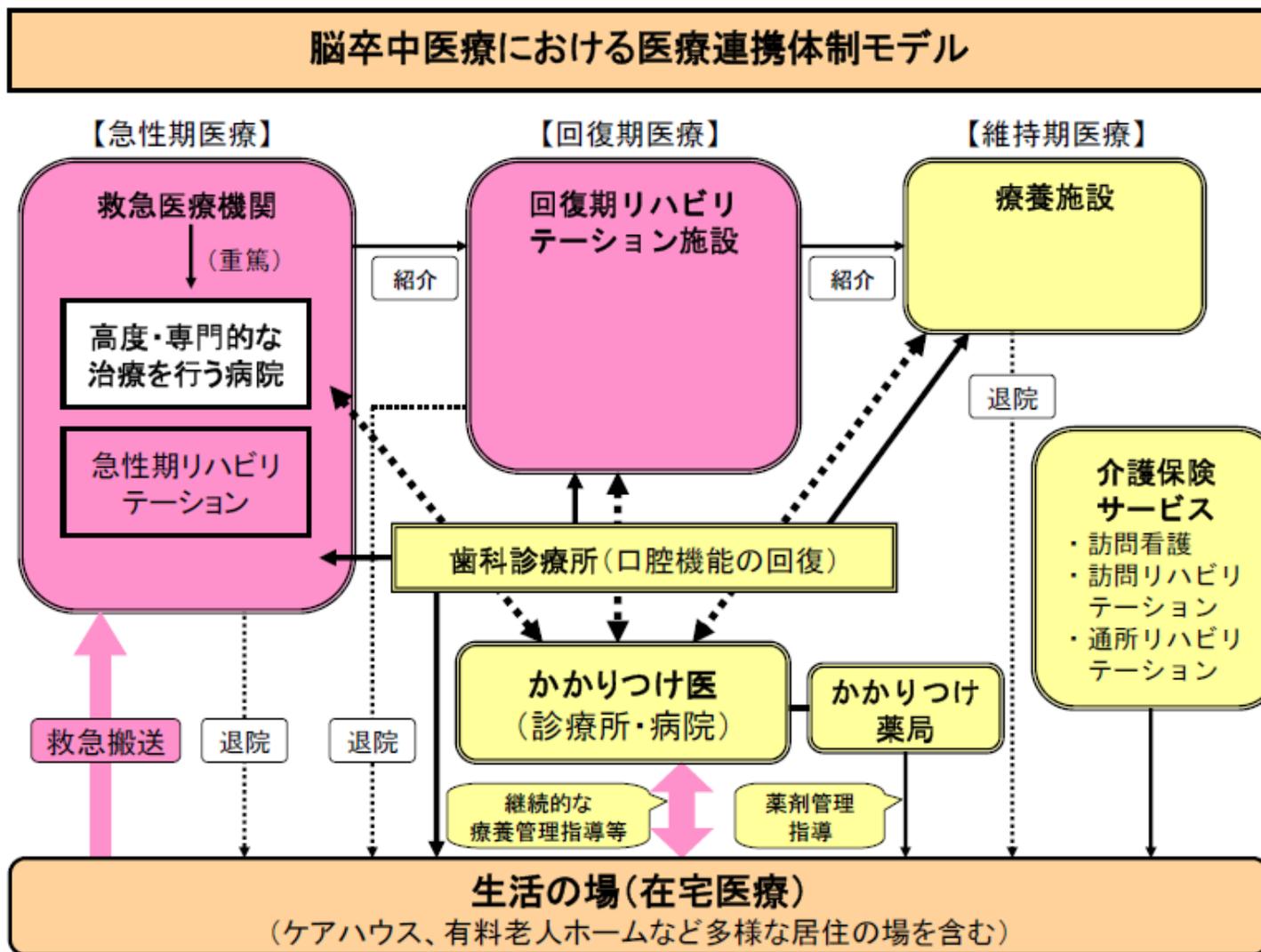
5大がんの診療体制に加えて、放射線の体外照射、外来化学療法、緩和医療も整備されている。

また、さいたま市立病院は、がん診療連携拠点病院になっており、さいたま市のがん医療の中核をなしている。

8. 脳卒中医療

本編: 5. 特定の医療機能における市立病院の役割

埼玉県における医療連携体制モデル



出典: 「埼玉県 医療機能情報提供システム (平成23年6月1日時点)」より

8. 脳卒中医療

本編： 5. 特定の医療機能における市立病院の役割

脳卒中に対する診療体制

さいたま市立病院は、脳卒中に対して脳血管内手術、24時間体制での頭蓋内血腫除去術などの高度な脳卒中医療を提供しており、さいたま市の脳卒中医療において重要な位置にある。

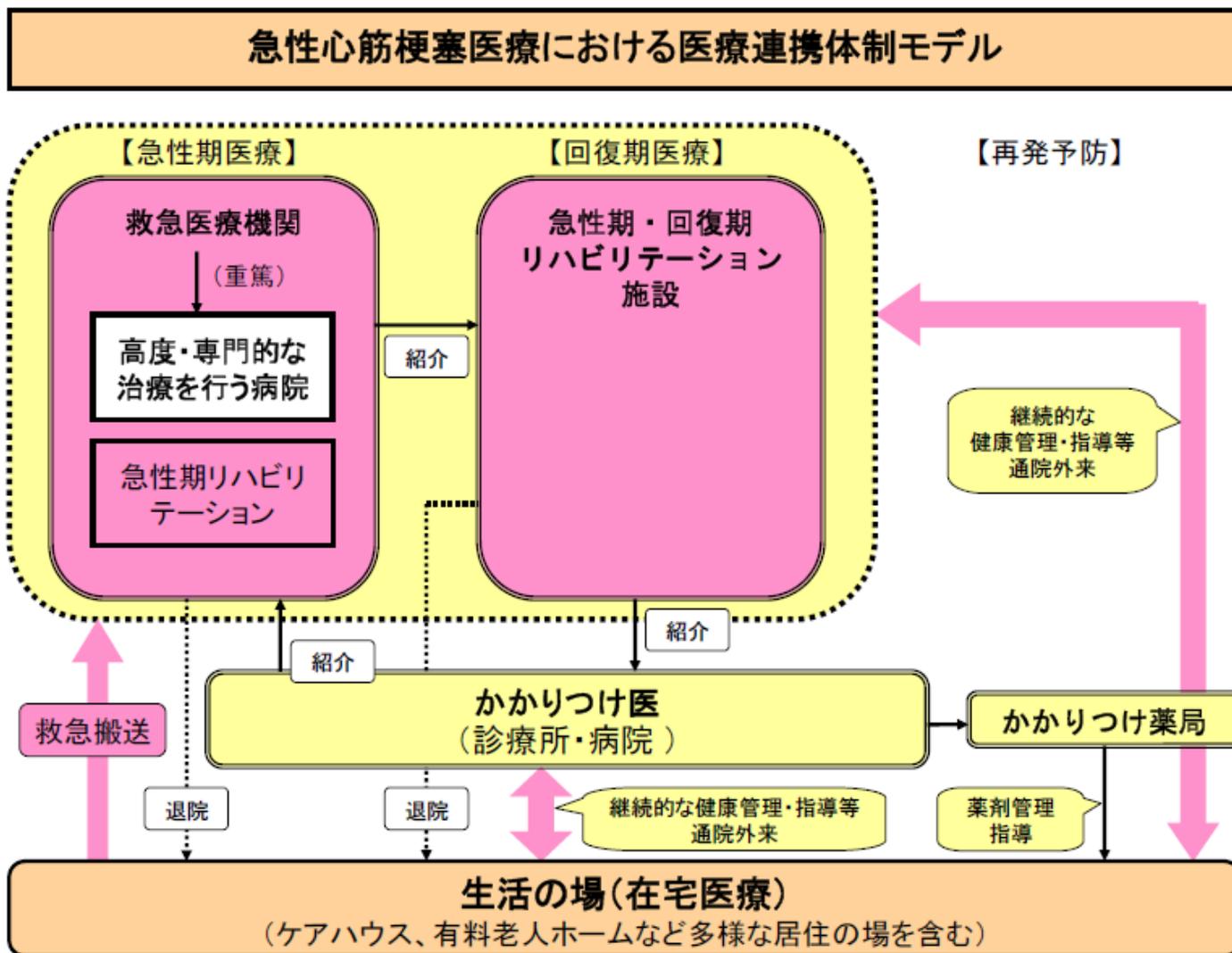
医療機関	脳卒中医療(急性期)									
	脳卒中専用集中治療室	頸部動脈血栓内膜剥離術	選択的脳血栓塞栓溶解術	抗血栓療法	頭蓋内血腫除去術		脳動脈瘤根治術(被包術、クリッピング)		脳動静脈奇形摘出術	脳血管内手術
					24時間	左記以外	24時間	左記以外		
病院数	1	6	5	9	7	4	4	4	10	5
さいたま市立病院										
さいたま赤十字病院										
埼玉社会保険病院										
自治医科大学附属さいたま医療センター										
医療法人社団松弘会 三愛病院										
埼玉県立小児医療センター										
さいたま市民医療センター										
医療法人社団 協友会 東大宮総合病院										
医療法人聖仁会 西部総合病院										
丸山記念総合病院										
医療法人ヘブロン会大宮中央総合病院										
医療法人秋葉病院										
大宮共立病院										

出典：「埼玉県 医療機能情報提供システム (平成23年6月1日時点)」より

9. 急性心筋梗塞医療

本編： 5. 特定の医療機能における市立病院の役割

埼玉県における医療連携体制モデル



出典：「埼玉県 医療機能情報提供システム (平成23年6月1日時点)」より

9. 急性心筋梗塞医療

本編： 5. 特定の医療機能における市立病院の役割

急性心筋梗塞に対する診療体制

さいたま市の急性心筋梗塞医療全体では、冠動脈バイパス術、開心術や心臓カテーテル法による血管内視鏡検査などの医療を提供出来る医療機関が少ない。

こうした中でさいたま市立病院は、経皮的冠動脈形成術(PTCA)、24時間体制でのペースメーカー移植術に加えて、冠動脈バイパス術、開心術を提供しており、さいたま市の急性心筋梗塞医療の中核をなしている。

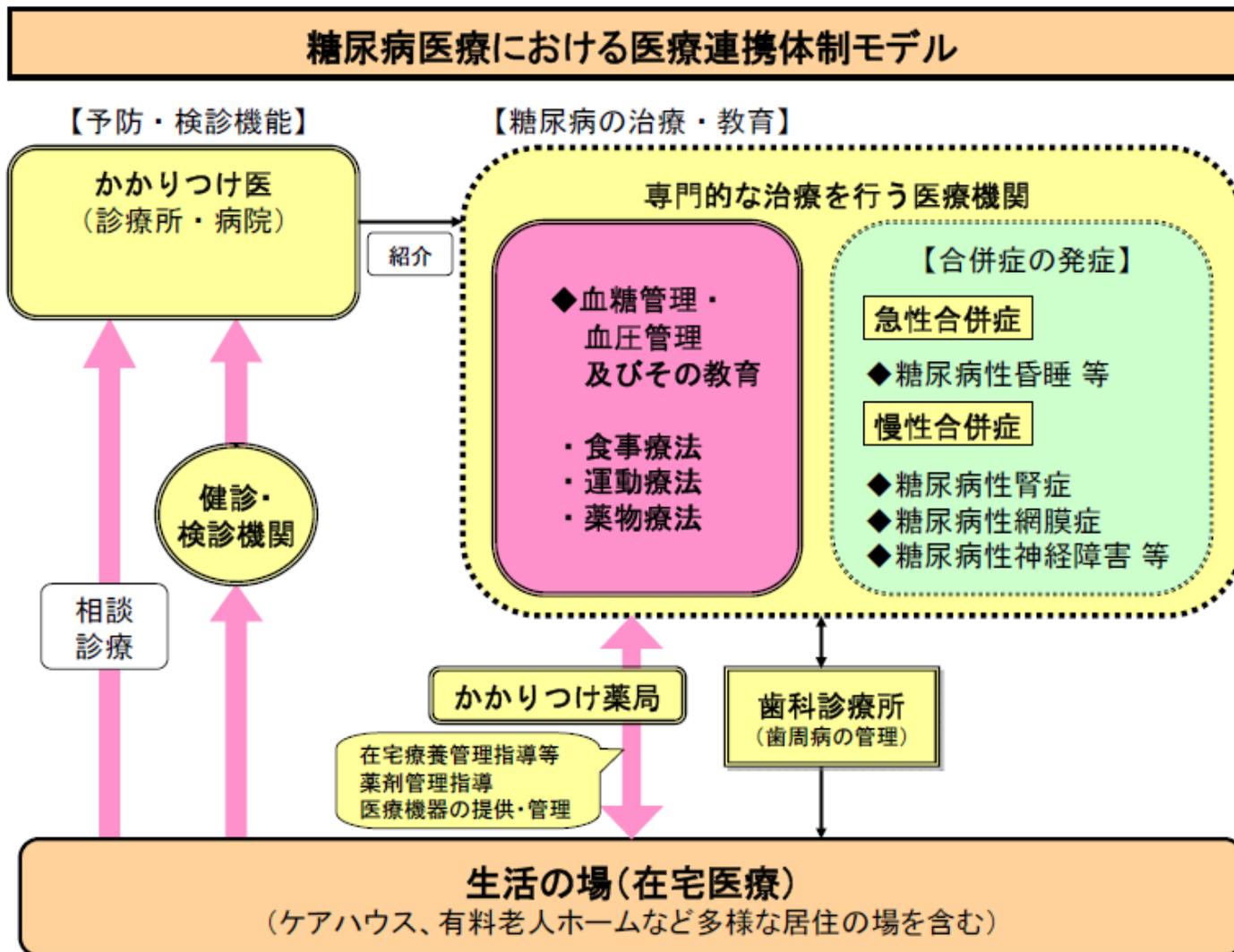
医療機関	急性心筋梗塞医療(急性期)													
	冠動脈バイパス術	経皮的冠動脈形成術(PTCA)	経皮的冠動脈血栓吸引術	経皮的冠動脈ステント留置術	開心術	ペースメーカー移植術 あるいはペースメーカー管理		心臓血管外科専門医のいる医療機関	心臓カテーテル法による諸検査		心臓カテーテル法による血管内視鏡検査	弁膜症手術	大動脈瘤手術	下肢静脈瘤手術
						24時間	左記以外		24時間	左記以外				
病院数	3	8	6	10	4	12	16	7	5	5	2	4	4	11
さいたま市立病院														
さいたま赤十字病院														
埼玉社会保険病院														
自治医科大学附属さいたま医療センター														
医療法人社団松弘会 三愛病院														
埼玉県立小児医療センター														
さいたま市民医療センター														
社会保険大宮総合病院														
医療法人社団 協友会 東大宮総合病院														
医療法人聖仁会 西部総合病院														
丸山記念総合病院														
医療法人ヘブロン会大宮中央総合病院														
医療法人一成会 さいたま記念病院														
医療法人社団幸正会 岩槻南病院														
医療法人社団双愛会 大宮双愛病院														
医療法人明浩会 西大宮病院														
岩槻中央病院														
大宮共立病院														

出典：「埼玉県 医療機能情報提供システム (平成23年6月1日時点)」より

10. 糖尿病医療

本編： 5. 特定の医療機能における市立病院の役割

埼玉県における医療連携体制モデル



出典：「埼玉県 医療機能情報提供システム (平成23年6月1日時点)」より

10. 糖尿病医療

本編： 5. 特定の医療機能における市立病院の役割

医療機関	糖尿病の治療・教育						
	血液透析	腹膜透析 (CAPD)	在宅自己腹膜灌流指導管理	在宅血液透析指導管理	糖尿病専門医 ((社)日本糖尿病学会)	内分泌代謝科専門医 ((社)日本内分泌学会)	透析専門医 ((社)日本透析医学会)
病院数	12	7	4	3	9	4	8
さいたま市立病院							
さいたま赤十字病院							
埼玉社会保険病院							
自治医科大学附属さいたま医療センター							
医療法人社団松弘会 三愛病院							
埼玉県立小児医療センター							
さいたま市民医療センター							
医療法人社団 協友会 東大宮総合病院							
医療法人聖仁会 西部総合病院							
医療法人博仁会 共済病院							
丸山記念総合病院							
医療法人 有隣会 わかさ病院							
医療法人ヘブロン会大宮中央総合病院							
医療法人一成会 さいたま記念病院							
医療法人社団幸正会 岩槻南病院							
医療法人社団望星会 望星病院							
指扇療養病院							
大宮共立病院							

糖尿病に対する診療体制

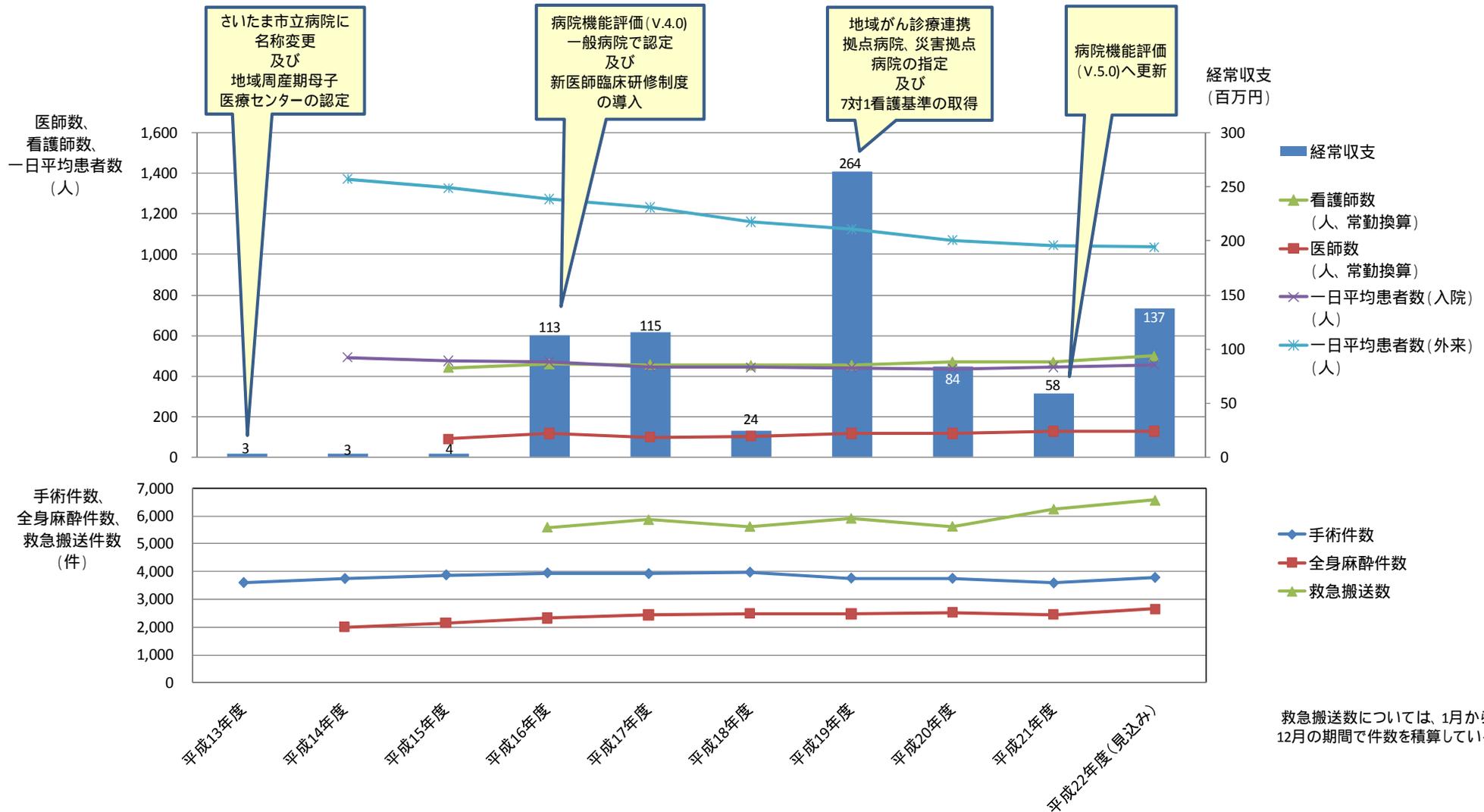
さいたま市立病院は、糖尿病に対して血液透析、腹膜透析(CAPD)の医療を提供している。

出典：「埼玉県 医療機能情報提供システム (平成23年6月1日時点)」より

11.さいたま市立病院直近10年間の経営指標及び活動の時系列推移

本編： 1. 経営状況の推移 直近10年間の経常収支の推移

さいたま市立病院の直近10年間の経営指標及び活動の時系列推移



出典：「さいたま市資料(平成13年度、平成14年度)」、「地方公営企業年鑑(平成15年度～平成21年度)」、「さいたま市決算見込時データ(平成22年度)」及び「さいたま市消防局データ」より

12.さいたま市立病院の診療科目別医師数の時系列推移

本編: 1.経営状況の推移 直近10年間の経常収支の推移

参考資料

診療科目別医師数

	平成 13 年度	平成 14 年度	平成 15 年度	平成 16 年度	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	
院長	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
内科	19	21	15	13	16	16	14	14	15	11	10	
消化器内科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	5	
総合心療科	0	0	1	1	0	0	1	1	1	1	1	
神経内科	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
循環器科	0	0	4	4	5	4	4	4	4	3	4	
小児科	8	11	11	11	11	12	10	9	10	6	7	
新生児内科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	6	
外科	7	7	7	7	7	8	10	9	9	9	10	
整形外科	7	7	7	7	7	6	6	7	6	5	5	
脳神経外科	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	
心臓血管外科	2	2	3	3	3	3	2	2	2	2	2	
小児外科	2	2	1	2	2	2	2	2	3	3	2	
皮膚科	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
泌尿器科	3	3	3	3	2	3	3	2	3	3	3	
産婦人科	5	6	7	5	6	7	8	8	8	6	6	
眼科	3	3	3	3	3	2	2	0	0	0	0	
耳鼻咽喉科	3	2	3	2	3	3	3	3	3	3	2	
放射線科	3	3	3	3	2	3	3	3	3	3	3	
麻酔科	5	5	5	5	4	4	5	5	5	5	5	
病理	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
救急	0	0	0	0	0	0	0	1	3	1	2	
感染症科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
小計	76	81	82	78	80	82	82	79	84	82	82	
専修医	定員	3	4	4	4	6	15	15	15	15	20	20
	実数	3	3	1	2	2	4	8	7	8	14	19
研修医	定員	10	6	6	6	10	17	24	24	24	24	24
	実数	4	2	1	1	9	17	24	24	23	23	23
合計	83	86	84	81	91	103	114	110	115	119	124	

出典: 「さいたま市立病院庶務課資料」より
平成23年度の数值は、平成23年7月1日時点のもの。

13. 経営診断における比較病院リスト 1/3

本編： 2. 他病院との比較(平成21年度)

さいたま市立病院の経営について比較を行うため、診療体制、規模等を勘案して同類型の自治体病院を抽出した。比較対象は、政令市の7病院、経営良好な10病院、地方独立行政法人の3病院、計20病院とした。

<さいたま市立病院と比較病院の一覧>

	番号	病院名	病床数	うち一般病床	診療科
当院	1	さいたま市立病院	567	537	救急科、内科、消化器内科、神経内科、循環器内科、小児科、新生児内科、外科、整形外科、脳神経外科、心臓血管外科、小児外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、放射線科、麻酔科、精神科
政令市病院	2	仙台市立病院	525	501	内科、小児科、精神科、神経内科、外科、整形外科、脳神経外科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、皮膚科、泌尿器科、放射線科、麻酔科、歯科、消化器内科、循環器内科、総合診療科、糖尿病・代謝内科
	3	横浜市立市民病院	650	624	内科、精神科、神経内科、呼吸器科、消化器科、循環器科、小児科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科、歯科口腔外科、麻酔科、心療内科
	4	川崎市立川崎病院	733	683	内科、精神科、神経内科、呼吸器科、消化器科、循環器科、リウマチ科、小児科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、産科、婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科、歯科、歯科口腔外科、麻酔科
	5	静岡市立静岡病院	506	500	内科、神経内科、小児科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、血液内科、腎臓内科、外科、呼吸器外科、心臓血管外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、放射線科、麻酔科、リハビリテーション科、眼科、耳鼻いんこう科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、精神科、歯科口腔外科、内分泌・代謝内科
	6	京都市立病院	548	528	内科、呼吸器内科、呼吸器外科、消化器内科、循環器内科、腎臓内科、糖尿病内科、代謝内科、血液内科、感染症内科、小児科、精神科、神経内科、外科、整形外科、脳神経外科、乳腺外科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、泌尿器科、リハビリテーション科、放射線科、歯科口腔外科、新型インフルエンザ(診察)
	7	市立堺病院	493	480	内科、外科、小児科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、神経内科、呼吸器科、消化器科、循環器科、整形外科、脳神経外科、歯科口腔外科
	8	広島市立安佐市民病院	527	527	内科、循環器科、神経科、精神科、小児科、外科、心臓血管外科、脳神経外科、整形外科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、リハビリ科、歯科

<選定基準>

- ・病床規模が一般病床400床以上かつ、標榜診療科が多数存在する総合病院型(=循環器専門等の専門病院を除く)。
- ・経営良好病院については、経常収支比率が100%以上であること。
- ・比較に使用したデータは、総務省 公営企業年鑑 平成21年度版 に基づいている。

13. 経営診断における比較病院リスト 2/3

参考資料

本編: 2. 他病院との比較(平成21年度)

番号	病院名	病床数	うち一般 病床	診療科
9	山形市立病院済生館	585	585	内科、小児科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、腎臓内科、糖尿病・内分泌内科、血液内科、外科、整形外科、脳神経外科、乳腺外科、内視鏡外科、血管外科、眼科、耳鼻いんこう科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、歯科、歯科口腔外科、精神科、神経内科、放射線科、麻酔科
10	総合病院国保旭中央病院	956	730	内科、小児科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科、歯科口腔外科、麻酔科、神経精神科、神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、アレルギー科、リウマチ科、心臓外科、歯科、腎臓内科、血液内科、新生児内科、人工透析内科、救急科、緩和ケア内科、臨床検査科、病理診断科、糖尿病・代謝内科、消化器内科(内視鏡)、化学療法内科、感染症内科
11	青梅市立総合病院	562	508	内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、血液内科、内分泌糖尿病内科、腎臓内科、神経内科、リウマチ科、外科、呼吸器外科、心臓血管外科、整形外科、脳神経外科、化学療法外科、精神科、小児科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科、病理診断科、臨床検査科、救急科、麻酔科、歯科口腔外科
12	平塚市民病院	416	410	内科、外科、消化器科、循環器科、神経内科、心臓血管外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、精神科、小児科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科、歯科、麻酔科
13	藤沢市民病院	536	530	内科、精神科、神経科、神経内科、呼吸器科、消化器科、循環器科、小児科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科、歯科口腔外科、麻酔科
14	岐阜市民病院	609	559	内科、糖尿病・内分泌内科、精神科、神経内科、呼吸器・腫瘍内科、消化器内科、血液内科、循環器内科、腎臓内科、小児科、外科、乳腺外科、整形外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、頭頸部外科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、病理診断科、臨床検査科、歯科、歯科口腔外科
15	大垣市民病院	888	842	内科、神経内科、消化器科、呼吸器科、循環器科、精神科、小児科、外科、小児外科、脳神経外科、心臓血管外科、呼吸器外科、形成外科、整形外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、頭頸部・耳鼻いんこう科、歯科口腔外科、放射線科、リハビリテーション科、麻酔科
16	小牧市民病院	544	544	内科、消化器科、循環器科、呼吸器科、神経内科、アレルギー科、リウマチ科、小児科、外科、呼吸器外科、心臓血管外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、放射線科、麻酔科、こう門科、リハビリテーション科、眼科、耳鼻いんこう科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、精神科、歯科口腔外科
17	兵庫県立尼崎病院	500	492	E R総合診療科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、小児循環器内科、腎臓内科、神経内科、血液内科、糖尿病・内分泌内科、感染症内科、外科、呼吸器外科、心臓血管外科、脳神経外科、乳腺外科、整形外科、形成外科、精神科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、病理診断科、東洋医学科、リウマチ・膠原病内科
18	三豊総合病院	519	515	内科、呼吸器科、消化器科、循環器科、神経内科、心療内科、精神科、小児科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、頭頸部外科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、リウマチ科、歯科、歯科口腔外科、矯正歯科

経営
良好
病院

13. 経営診断における比較病院リスト 3/3

本編: 2. 他病院との比較(平成21年度)

参考資料

	番号	病院名	病床数	うち一般 病床	診療科
地方独立 行政法人 病院	19	地方独立行政法人 大阪府立 急性期・総合医療センター	768	734	内科、消化器内科、心臓内科、糖尿病代謝内科、腎臓内科、神経内科、リウマチ科、小児科、精神科、皮膚科、外科、心臓血管外科、脳神経外科、整形外科、産婦人科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、形成外科、歯科口腔外科、麻酔科、放射線診断科、放射線治療科、リハビリテーション科、歯科、救急科、臨床検査科、病理診断科
	20	地方独立行政法人 神戸市立医療センター 中央市民病院	912	902	内科、循環器内科、糖尿病・内分泌内科、腎臓内科、神経内科、消化器内科、呼吸器内科、免疫血液内科、感染症科、精神・神経科、小児科、小児科(新生児)、皮膚科、外科、移植外科、心臓血管外科、呼吸器外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、産婦人科、泌尿器科、眼科、耳鼻いんこう科、麻酔科、歯科、歯科口腔外科、病理診断科、放射線診断科、放射線治療科、リハビリテーション科、救急科、インフルエンザ
	21	地方独立行政法人 那覇市立病院	470	470	小児科、外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、耳鼻いんこう科、歯科口腔外科、放射線科、眼科、内科

14. 各病院の概要 ア) 政令市7病院

本編: 2. 他病院との比較(平成21年度)

- ・ 経常収支比率は、堺病院以外の7病院は100%以上であった。また、他会計繰入金を除いた実質経常収支比率は、さいたま市立病院は88.4%と政令市7病院平均の86.9%よりも1.4ポイント高かった。
- ・ 医業収支比率は、さいたま市立病院は93.2%であり、政令市7病院平均の92.7%より0.5ポイント高かった。他会計繰入金を除いた実質医業収支比率は、さいたま市立病院は90.9%であり、政令市7病院平均の88.6%よりも2.3ポイント高かった。

	番号	1	A=2~8平均			2	3	4	5	6	7	8
	病院名	さいたま市立病院	政令市7病院平均(さいたま市除く)	さいたま市数値-政令市好平均(1-A)	さいたま市数値÷政令市平均(1÷A)	仙台市立病院	横浜市市民病院	川崎市川崎病院	静岡市立静岡病院	京都市立病院	堺市堺病院	広島市安佐市民病院
全体概況												
経営形態	a	一部適用				全部適用	全部適用	全部適用	一部適用	一部適用	一部適用	全部適用
病床数	b=c~g計	567	569	100%		525	650	733	506	548	493	527
うち一般	c	537	549	98%		501	624	683	500	528	480	527
療養	d	0	0	-		0	0	0	0	0	0	0
結核	e	20	2	1167%		0	0	0	0	12	0	0
精神	f	0	8	0%		16	0	38	0	0	0	0
感染症	g	10	10	96%		8	26	12	6	8	13	0
看護基準	h	7対1				7対1	7対1	10対1	10対1	7対1	7対1	7対1
救急	i	2次				3次	2次	3次	2次	2次	2次	2次
経営全体指標(実質比率100%以上を青、85%以下を赤、繰入金比率は5%以下を青、15%以上を赤)												
経常収支比率	j	100.5%	100.4%	0.1%		100.8%	102.5%	104.5%	100.0%	100.8%	91.8%	102.2%
他会計繰入金対経常収益率	k	12.0%	13.4%	-1.4%		17.0%	7.6%	20.2%	11.7%	17.1%	13.3%	6.7%
実質経常収支比率	l	88.4%	86.9%	1.4%		83.7%	94.7%	83.4%	88.4%	83.6%	79.6%	95.4%
医業収支比率	m	93.2%	92.7%	0.5%		92.2%	98.1%	89.0%	95.4%	89.0%	88.2%	96.9%
他会計繰入金対医業収益率	n	13.5%	15.3%	-1.8%		18.9%	8.1%	24.8%	12.9%	20.5%	14.8%	7.2%
実質医業収支比率	o	90.9%	88.6%	2.3%		83.3%	94.2%	85.9%	91.7%	86.3%	83.4%	95.3%

記載している各数値は四捨五入によっているため、合計数値と一致しない場合がある。
出典: 地方公営企業年鑑(平成21年度)

14. 各病院の概要 イ) 経営良好10病院

本編: 2. 他病院との比較(平成21年度)

- ・ 経常収支比率が100%以上である、同類型の自治体病院を10病院抽出し、経営指標等に関する分析を行った。
- ・ 他会計繰入金対経常収益比率は、0.9%～11.4%まで大きく差異がある(さいたま市立病院は12.0%)。実質経常収支比率が100%以上であるのは2病院であり、実質医業収支比率が100%以上となったのは5病院であった。

	番号	1	B=9～18平均		9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
	病院名	さいたま市立病院	経営良好10病院平均	さいたま市数値-経営良好平均(1-B)	山形市立病院済生館	総合病院国保旭中央病院	青梅市総合病院	平塚市民病院	藤沢市民病院	岐阜市民病院	大垣市民病院	小牧市民病院	兵庫県立尼崎病院	三豊総合病院
全体概況														
経営形態	a	一部適用			一部適用	全部適用	全部適用	一部適用	一部適用	一部適用	一部適用	一部適用	全部適用	一部適用
病床数	b=c～g計	567	612	93%	585	956	562	416	536	609	888	544	500	519
うち一般	c	537	572	94%	585	730	508	410	530	559	842	544	492	515
療養	d	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
結核	e	20	4	500%	0	0	0	0	0	0	40	0	0	0
精神	f	0	32	-	0	220	50	0	0	50	0	0	0	0
感染症	g	10	4	250%	0	6	4	6	6	0	6	0	8	4
看護基準	h	7対1			10対1	10対1	10対1	7対1	7対1	10対1	10対1	10対1	7対1	10対1
救急	i	2次			2次	3次	3次	2次	3次	2次	3次	3次	2次	2次
経営全体指標(実質比率100%以上を青、85%以下を赤、繰入金比率は5%以下を青、15%以上を赤)														
経常収支比率	j	100.5%	103.2%	-2.7%	105.0%	101.5%	101.9%	100.2%	105.5%	100.6%	103.3%	104.5%	104.4%	105.0%
他会計繰入金対経常収益率	k	12.0%	6.3%	5.7%	11.0%	5.5%	4.2%	10.1%	11.4%	6.0%	0.9%	5.6%	6.8%	1.8%
実質経常収支比率	l	88.4%	96.7%	-8.3%	93.5%	95.9%	97.6%	90.1%	93.5%	94.5%	102.4%	98.6%	97.3%	103.0%
医業収支比率	m	93.2%	101.0%	-7.8%	100.6%	102.6%	94.9%	96.8%	100.4%	99.6%	104.7%	102.0%	102.2%	105.7%
他会計繰入金対医業収益率	n	13.5%	6.8%	6.7%	12.2%	6.0%	4.6%	10.9%	12.3%	6.4%	0.9%	6.0%	7.2%	1.9%
実質医業収支比率	o	90.9%	98.7%	-7.8%	98.1%	100.4%	92.9%	92.5%	95.2%	97.7%	104.7%	101.3%	100.6%	104.1%

記載している各数値は四捨五入によっているため、合計数値と一致しない場合がある。
出典: 地方公営企業年鑑(平成21年度)

14. 各病院の概要 ウ) 地方独立行政法人3病院

本編: 2. 他病院との比較(平成21年度)

- 抽出した3病院は全て経常収支比率が100%以上だった。ただし、他会計繰入金対経常収益比率は、3.8%～15.4%まで大きく差異があった(さいたま市立病院は12.0%)。
- 他会計負担金を除いた実質ベースの比率を見ると、3病院とも経常収支比率が100%以上となるものの、実質医業収支比率が100%以上となるのは那覇市立病院のみであった。那覇市立病院は、他会計繰入金対経常収支比率が3.8%と顕著に低かった。

	番号	1
	病院名	さいたま市立病院
全体概況		
経営形態	a	一部適用
病床数	b=c ~ g計	567
うち一般	c	537
療養	d	0
結核	e	20
精神	f	0
感染症	g	10
看護基準	h	7対1
救急	i	2次
経営全体指標(実質比率100%以上を青、85%以下を赤、繰入金比率は5%以下を青、15%以上を赤)		
経常収支比率	j	100.5%
他会計繰入金対経常収益率	k	12.0%
実質経常収支比率	l	88.4%
医業収支比率	m	93.2%
他会計繰入金対医業収益率	n	13.5%
実質医業収支比率	o	90.9%

C=19~21平均			19	20	21
地方独立行政法人3病院平均	さいたま市 数値-地方 独法平均 (1-C)	さいたま市 数値÷地方 独法平均(1 ÷C)	大阪府立 急性期・ 総合医療 センター	神戸市立 医療センター 中央市民 病院	那覇 市立病院
平均			地方独法	地方独法	地方独法
717		79%	768	912	470
702		76%	734	902	470
0		-	0	0	0
0		-	0	0	0
11		0%	34	0	0
3		300%	0	10	0
			10対1	7対1	7対1
			3次	3次	2次
106.6%	-6.1%		106.2%	109.1%	104.4%
10.8%	1.2%		15.4%	13.1%	3.8%
95.0%	-6.6%		89.8%	94.8%	100.4%
107.8%	-14.6%		108.5%	110.8%	104.1%
11.0%	2.5%		15.8%	13.4%	3.9%
96.5%	-5.6%		92.9%	96.3%	100.3%

記載している各数値は四捨五入によっているため、合計数値と一致しない場合がある。
 出典: 地方公営企業年鑑(平成21年度)、地方独立行政法人の公表財務諸表(平成21年度)

15. 収支構造 ア) 政令市7病院

本編: 2. 他病院との比較(平成21年度)

実質医業収益対比率の各項目の色付け基準	
給与費比率	50%以下を青、60%以上を赤
委託費比率	7%以下を青、13%以上を赤
減価償却費比率	3%以下を青、7%以上を赤
その他経費比率	10%以下を青、16%以上を赤
材料費比率	25%以下を青、30%以上を赤
給与+委託費比率	60%以下を青、70%以上を赤

- 医業費用について、各費目の実質医業収益対比率を計算した。実質医業収益対費用合計比率(表g行)は、さいたま市立病院は政令7市平均よりも3.2ポイント低かった。
- 給与費比率は、さいたま市立病院は政令7市平均と0.5ポイント高、委託費比率は同水準の10%だった。減価償却費比率は、さいたま市立病院は政令7市平均よりも3ポイント低かった。
- 100床当たり収支は、実質医業収益が対政令7市比で87%、医業費用が85%であり、政令7市と比較するとさいたま市立病院は相対的に医業収益、医業費用とも低めであった。

	番号	1	A=2~8平均			2	3	4	5	6	7	8
	病院名	さいたま市立病院	政令7病院平均(さいたま市除く)	さいたま市数値-政令7市好平均(1-A)	さいたま市数値÷政令7市平均(1÷A)	仙台市立病院	横浜市市民病院	川崎市川崎病院	静岡市立静岡病院	京都市立病院	堺市堺病院	広島市安佐市民病院
実質医業収支比率(再掲)	a	90.9%	88.6%	2.3%		83.3%	94.2%	85.9%	91.7%	86.3%	83.4%	95.3%
各費目の実質医業収益対比率												
給与費比率	b	54%	54%	0.5%		70%	52%	49%	45%	66%	51%	44%
委託費比率	c	10%	10%	0.0%		11%	9%	15%	10%	11%	9%	7%
減価償却費比率	d	4%	7%	-3.0%		4%	5%	13%	6%	6%	10%	6%
その他経費比率	e	13%	14%	-1.0%		12%	14%	14%	11%	7%	24%	19%
材料費比率	f	27%	27%	0.2%		23%	26%	25%	37%	26%	26%	29%
実質医業収益対費用合計比率	g=b~f計	110%	113%	-3.2%		120%	106%	116%	109%	116%	120%	105%
給与+委託費比率	h=b+c	65%	64%	0.5%		82%	61%	64%	55%	77%	60%	51%
各費目の100床当たり金額(百万円) 当院120%以上を青												
実質医業収益	i	1,909	2,183	87%		1,804	2,228	2,019	2,977	1,879	2,065	2,310
給与費	j	1,039	1,153	90%		1,268	1,149	989	1,345	1,247	1,057	1,018
委託費	k	199	224	89%		204	205	303	289	205	190	170
減価償却費	l	82	157	52%		75	121	266	182	107	208	142
その他経費	m	255	313	82%		211	313	290	318	137	488	432
材料費	n	524	611	86%		408	578	502	1,114	480	532	660
医業費用計	o=j~n計	2,100	2,458	85%		2,166	2,366	2,351	3,248	2,176	2,475	2,423
給与+委託費計	p=j+k	1,238	1,377	90%		1,472	1,354	1,293	1,634	1,452	1,247	1,189
実質医業収支	q=i-o	-190	-273	70%		-362	-138	-332	-271	-297	-410	-113

記載している各数値は四捨五入によっているため、合計数値と一致しない場合がある。
 出典: 地方公営企業年鑑(平成21年度)

15. 収支構造 イ) 経営良好10病院

本編: . 2. 他病院との比較(平成21年度)

給与費比率	50%以下を青、60%以上を赤
委託費比率	7%以下を青、13%以上を赤
減価償却費比率	3%以下を青、7%以上を赤
その他経費比率	10%以下を青、16%以上を赤
材料費比率	25%以下を青、30%以上を赤
給与+委託費比率	60%以下を青、70%以上を赤

- 実質医業収支比率が100%以上の病院の特徴は、給与費比率が51%以下(さいたま市立病院は54%)、給与費と委託費を合わせた比率も56%以下(さいたま市立病院は65%)など、固定費の比率が低いことであった。他方で、材料費比率は三豊病院は25%と低めであるが、他4病院は29%~37%(さいたま市立病院は27%)と高かった。
- 100床当たり金額の収支構造については、実質医業収支比率100%以上の5病院中4病院は、収益・費用が共に大きい<高収益・高費用型>であることが確認された。

	番号	1	B=9~18平均		9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
	病院名	さいたま市立病院	経営良好10病院平均	さいたま市 数値-経営 良好平均 (1-B)	山形市立 病院済生館	総合病院 国保旭 中央病院	青梅市 総合病院	平塚 市民病院	藤沢 市民病院	岐阜 市民病院	大垣 市民病院	小牧 市民病院	兵庫県立 尼崎病院	三豊 総合病院
実質医業収支比率(再掲)	a	90.9%	98.7%	-7.8%	98.1%	100.4%	92.9%	92.5%	95.2%	97.7%	104.7%	101.3%	100.6%	104.1%
各費目の実質医業収益対比率														
給与費比率	b	54%	48%	6.0%	56%	42%	46%	52%	55%	52%	40%	43%	48%	51%
委託費比率	c	10%	8%	2.6%	9%	5%	8%	10%	9%	9%	6%	10%	6%	5%
減価償却費比率	d	4%	5%	-0.8%	4%	7%	7%	4%	6%	3%	6%	7%	3%	5%
その他経費比率	e	13%	10%	3.5%	10%	11%	11%	15%	8%	9%	6%	9%	9%	10%
材料費比率	f	27%	30%	-2.7%	23%	35%	36%	28%	26%	29%	37%	29%	33%	25%
実質医業収益対費用合計比率	q=b~f計	110%	101%	8.5%	102%	100%	108%	108%	105%	102%	95%	99%	99%	96%
給与費+委託費比率	h=b+c	65%	56%	8.6%	65%	47%	54%	62%	65%	61%	46%	53%	54%	56%
各費目の100床当たり金額(百万円) 当院120%以上を青														
実質医業収益	i	1,909	2,474	77%	1,625	2,954	2,449	2,145	2,670	2,077	2,959	3,127	2,597	2,131
給与費	j	1,039	1,179	88%	902	1,242	1,123	1,110	1,479	1,079	1,187	1,343	1,249	1,076
委託費	k	199	193	103%	146	149	194	215	246	186	183	326	165	116
減価償却費	l	82	131	62%	68	193	176	81	161	72	180	217	67	99
その他経費	m	255	241	106%	161	327	270	324	224	190	173	287	235	221
材料費	n	524	759	69%	379	1,032	872	591	695	601	1,103	913	866	536
医業費用計	o=j~n計	2,100	2,503	84%	1,656	2,944	2,636	2,320	2,805	2,127	2,825	3,085	2,583	2,048
給与費+委託費計	p=j+k	1,238	1,372	90%	1,049	1,392	1,317	1,325	1,725	1,265	1,370	1,669	1,415	1,192
実質医業収支	q=i-o	-190	-29	651%	-31	11	-187	-175	-134	-49	134	42	15	83

記載している各数値は四捨五入によっているため、合計数値と一致しない場合がある。出典:地方公営企業年鑑(平成21年度)

高収益高費用型

参考資料 35

15. 収支構造 ウ) 地方独立行政法人3病院

本編: . 2. 他病院との比較(平成21年度)

実質医業収益対比率の各項目の色付け基準	
給与費比率	50%以下を青、60%以上を赤
委託費比率	7%以下を青、13%以上を赤
減価償却費比率	3%以下を青、7%以上を赤
その他経費比率	10%以下を青、16%以上を赤
材料費比率	25%以下を青、30%以上を赤
給与 + 委託費比率	60%以下を青、70%以上を赤

- 地方独立行政法人3病院の実質医業収益対費用合計比率(表g行)は、104%であり、さいたま市立病院よりも6.3ポイント低かった。
- 給与費比率が51%(さいたま市立病院は54%)、給与費と委託費を合わせた比率も61%(さいたま市立病院は65%)など、固定費の比率も低かった。

	番号	1
	病院名	さいたま市立病院
実質医業収支比率(再掲)	a	90.9%
各費目の実質医業収益対比率		
給与費比率	b	54%
委託費比率	c	10%
減価償却費比率	d	4%
その他経費比率	e	13%
材料費比率	f	27%
実質医業収益対費用合計比率	g=b~f計	110%
給与費 + 委託費比率	h=b+c	65%
各費目の100床当たり金額(百万円) 当院120%以上を青		
実質医業収益	i	1,909
給与費	j	1,039
委託費	k	199
減価償却費	l	82
その他経費	m	255
材料費	n	524
医業費用計	o=j~n計	2,100
給与費 + 委託費計	p=j+k	1,238
実質医業収支	q=i-o	-190

C=19~21平均			19	20	21
地方独立行政法人3病院平均	さいたま市数値-地方独法平均(1-C)	さいたま市数値÷地方独法平均(1÷C)	大阪府立急性期・総合医療センター	神戸市立医療センター中央市民病院	那覇市立病院
96.5%	-5.6%		92.9%	96.3%	100.3%
51%	3.7%		54%	48%	51%
10%	0.6%		9%	11%	9%
6%	-2.0%		9%	4%	6%
10%	2.9%		9%	9%	14%
26%	1.0%		28%	32%	20%
104%	6.3%		108%	104%	100%
61%	4.3%		62%	59%	60%
2,400		80%	2,347	2,679	2,173
1,213		86%	1,257	1,273	1,108
239		83%	206	307	203
147		56%	208	99	135
247		103%	202	243	296
646		81%	653	859	425
2,492		84%	2,526	2,782	2,167
1,452		85%	1,463	1,581	1,312
-92		207%	-179	-102	6

記載している各数値は四捨五入によっているため、合計数値と一致しない場合がある。
 出典: 地方公営企業年鑑(平成21年度)、地方独立行政法人の公表財務諸表(平成21年度)

16. 医業収益の状況 ア) 政令市7病院

本編: 2. 他病院との比較(平成21年度)

- 100床当たりの実質医業収益は、さいたま市立病院は政令7市平均対比87%の水準であった。入院収益が平均対比95%と若干下回るほか、外来収益が72%と低くなっている。
- 入院収益は、患者一人一日当たり収入ではさいたま市立病院(50千円台)が政令7市平均(49千円台)を上回っているものの、病床利用率は比較対象(85%)に比して、さいたま市立病院は79%と低水準だった。
- 例えば、静岡病院の100床当たり入院収益1,918百万円は、さいたま市立病院の入院収益1,446百万円よりも32%以上高いが、その入院患者一人一日当たり収入は55,235円(さいたま市立病院50,448円)であり、患者一人一日当たり収入において手術料が高いことも確認された。さらに病床利用率がほぼ満床状態の95%(さいたま市立病院79%)と著しく高かった。

	番号	1	A=2~8平均	2	3	4	5	6	7	8	
	病院名	さいたま市立病院	政令市7病院平均(さいたま市除く)	さいたま市数値÷政令市平均(1÷A)	仙台市立病院	横浜市市民病院	川崎市川崎病院	静岡市立静岡病院	京都市立病院	堺市堺病院	広島市安佐市民病院
100床当たり収益額(百万円): 当院120%以上を青											
入院収益	a	1,446	1,529	95%	1,352	1,553	1,408	1,918	1,331	1,453	1,687
外来収益	b	433	599	72%	435	581	564	971	505	554	585
その他医業収益	c	77	154	50%	211	187	120	208	101	176	77
医業収益計	d=a~c計	1,956	2,283	86%	1,998	2,321	2,093	3,097	1,937	2,183	2,349
うち他会計負担金	e	47	100	48%	194	94	74	120	58	118	39
実質医業収益	f=d-e	1,909	2,183	87%	1,804	2,228	2,019	2,977	1,879	2,065	2,310
患者単価(円): 当院5%以上、かつ500円以上を青											
入院患者単価	a	50,448	49,257	102%	46,726	51,418	45,397	55,235	45,170	48,282	52,571
うち入院料等	b	28,797	27,492	105%	30,987	33,229	22,440	24,079	27,252	31,886	22,573
処置・手術料	c	13,524	12,084	112%	11,566	11,764	12,734	16,826	9,693	12,396	9,612
外来患者単価	d	9,722	11,934	81%	8,861	12,430	8,507	17,587	8,862	12,629	14,660
うち投薬	e	119	1,376	9%	325	274	367	5,909	443	679	1,636
投薬料を除いた外来単価	f=d-e	9,603	10,558	91%	8,536	12,156	8,140	11,678	8,419	11,950	13,024
その他医業指標: 病床利用率90%以上、外来入院患者比率200%以上を青											
病床利用率(全体)(%)	g	79%	85%	79%	84%	85%	95%	81%	82%	88%	
平均在院日数(一般病床のみ)	h	13.9	13.8	101%	13.0	13.0	15.5	13.9	14.4	13.1	13.7
1日外来患者数(人)	i	1,044	1,220	86%	1,066	1,256	2,009	1,154	1,289	897	872
外来入院患者数比率(%)	j	156%	166%	170%	155%	214%	159%	193%	146%	124%	

記載している各数値は四捨五入によっているため、合計数値と一致しない場合がある。
出典: 地方公営企業年鑑(平成21年度)

16. 医業収益の状況 イ) 経営良好10病院

本編: 2. 他病院との比較(平成21年度)

- 100床当たりの実質医業収益について、さいたま市立病院は経営良好病院平均の77%の水準だった。入院収益が平均対比92%と若干下回るほか、外来収益が52%と顕著に低いことが確認された。
- 入院収益について、患者一人一日当たり収入では、さいたま市立病院(50千円台)が平均(49千円台)を上回ったものの、病床利用率は平均(86%)に比して低かった(さいたま市立病院79%)。また、入院収益がさいたま市立病院対比120%以上の病院(高収益型)は、患者一人一日当たり収入が54千円以上と顕著に高く、特に手術料が高いことも確認された。
- 外来は、1日外来患者数が顕著に低く(平均対比65%)、外来入院比率も低かった(平均194%、さいたま市立病院156%)。投薬料を除いた患者一人一日当たり収入()でも、さいたま市立病院は平均対比91%の水準に留まっていた。 院外処方率の影響を除くため投薬料を除外して比較

番号	1	B=9~18平均	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18		
		さいたま市立病院	経営良好10病院平均	さいたま市数値÷経営良好平均(1÷B)	山形市立病院済生館	総合病院国保旭中央病院	青梅市総合病院	平塚市民病院	藤沢市民病院	岐阜市民病院	大垣市民病院	小牧市民病院	兵庫県立尼崎病院	三豊総合病院
100床当たり収益額(百万円):当院120%以上を青														
入院収益	a	1,446	1,567	92%	1,196	1,443	1,449	1,402	1,830	1,456	1,736	1,943	1,888	1,331
外来収益	b	433	833	52%	376	1,417	953	674	752	562	1,168	1,067	649	714
その他医業収益	c	77	127	61%	95	159	100	171	235	100	55	138	103	119
医業収益計	d=a-c計	1,956	2,528	77%	1,667	3,019	2,502	2,247	2,816	2,118	2,959	3,148	2,640	2,165
うち他会計負担金	e	47	55	87%	41	65	54	101	146	40	0	21	43	34
実質医業収益	f=d-e	1,909	2,474	77%	1,625	2,954	2,449	2,145	2,670	2,077	2,959	3,127	2,597	2,131
患者単価(円):当院5%以上、かつ500円以上を青														
入院患者単価	a	50,448	49,087	103%	40,422	47,112	48,557	45,874	54,295	46,279	54,944	56,422	55,801	41,160
うち入院料等	b	28,797	26,950	107%	26,771	27,370	28,629	28,271	27,988	30,019	19,114	26,519	28,759	26,056
処置・手術料	c	13,524	13,979	97%	8,583	13,321	13,382	12,254	14,849	9,839	18,504	18,244	21,163	9,652
外来患者単価	d	9,722	13,207	74%	10,897	16,580	16,841	11,043	11,286	9,489	17,730	13,322	11,813	13,065
うち投薬	e	119	2,634	5%	663	6,134	5,304	2,214	481	944	6,149	1,675	1,555	1,219
投薬料を除いた外来単価	f=d-e	9,603	10,573	91%	10,234	10,446	11,537	8,829	10,805	8,545	11,581	11,647	10,258	11,846
その他医業指標:病床利用率90%以上、外来入院患者比率200%以上を青														
病床利用率(全体)(%)	g	79%	86%		81%	84%	82%	73%	92%	86%	87%	94%	93%	89%
平均在院日数(一般病床のみ)	h	13.9	13.7	101%	13.5	12.4	13.7	14.4	13.0	14.3	14.3	11.7	15.4	14.7
1日外来患者数(人)	i	1,044	1,603	65%	824	3,349	1,315	1,049	1,475	1,490	2,418	1,801	1,135	1,173
外来入院患者数比率(%)	j	156%	194%		117%	279%	190%	200%	198%	188%	209%	233%	162%	169%

記載している各数値は四捨五入によっているため、合計数値と一致しない場合がある。

出典:地方公営企業年鑑(平成21年度)

16. 医業収益の状況 ウ) 地方独立行政法人3病院

本編: 2. 他病院との比較(平成21年度)

- 100床当たりの実質医業収益について、さいたま市立病院は地方独立行政法人3病院平均の80%の水準だった。入院収益が平均対比85%、外来収益が76%と低かった。
- 100床当たり入院収益は、神戸市立医療センターにおいて1,906百万円(さいたま市立病院比131%)となっている。患者一人一日当たり収入では、さいたま市立病院(50千円台)が神戸市立(63千円台)よりも低い。病床利用率は神戸市立(82%)よりやや低かった(さいたま市立病院79%)。
- 100床当たり外来収益は、神戸市立でさいたま市立病院を大きく上回る652百万円(さいたま市立病院比150%)である。外来一人一日当たり収入は13,282円(さいたま市立病院9,722円)、1日外来患者数が1,849人(さいたま市立病院1,044人)といずれもさいたま市立病院を大きく上回っている。

	番号	1	C=19~21平均		19	20	21
	病院名	さいたま市立病院	地方独立行政法人3病院平均	さいたま市数値÷地方独法平均(1÷C)	大阪府立急性期・総合医療センター	神戸市立医療センター中央市民病院	那覇市立病院
100床当たり収益額(百万円): 当院120%以上を青							
入院収益	a	1,446	1,694	85%	1,700	1,906	1,477
外来収益	b	433	574	76%	511	652	559
その他医業収益	c	77	425	18%	530	524	219
医業収益計	d=a~c計	1,956	2,693	73%	2,742	3,082	2,255
うち他会計負担金	e	47	293	16%	394	402	82
実質医業収益	f=d-e	1,909	2,400	80%	2,347	2,679	2,173
患者単価(円): 当院5%以上、かつ500円以上を青							
入院患者単価	a	50,448	53,089	95%	51,848	63,378	44,039
うち入院料等	b	28,797	-	-	-	-	-
処置・手術料	c	13,524	-	-	-	-	-
外来患者単価	d	9,722	11,530	84%	9,810	13,282	11,498
うち投薬	e	119	-	-	-	-	-
投薬料を除いた外来単価	f=d-e	9,603	-	-	-	-	-
その他医業指標: 病床利用率90%以上、外来入院患者比率200%以上を青							
病床利用率(全体)(%)	g	79%	88%	-	90%	82%	92%
平均在院日数(一般病床のみ)	h	13.9	-	-	-	-	-
1日外来患者数(人)	i	1,044	1,483	70%	1,653	1,849	948
外来入院患者数比率(%)	j	156%	-	-	-	-	-

記載している各数値は四捨五入によっているため、合計数値と一致しない場合がある。
 出典: 地方公営企業年鑑(平成21年度)、地方独立行政法人の公表財務諸表(平成21年度)

17. 職員数の状況 ア) 政令市7病院

本編: 2. 他病院との比較(平成21年度)

- 100床当たりの職種別職員数(非常勤の常勤換算込)を見ると、医師は政令7市平均比で117%、看護師は平均比101%と、人員を確保できている。
- 但し、薬剤、放射線、臨床検査、給食の各コメディカル部門職員では平均比で83%から88%とやや少ない。但し、薬剤部門は院外処方実施状況、給食は委託状況の差異による影響が大きいなどの要因が考えられる。
- 医師一人当たりの実質医業収益では平均比で69%とかなり低い状況である。

	番号	1	A=2~8平均								
	病院名	さいたま市立病院	政令市7病院平均(さいたま市除く)	さいたま市数値÷政令市平均(1÷A)	2 仙台市立病院	3 横浜市市民病院	4 川崎市川崎病院	5 静岡市立静岡病院	6 京都市立病院	7 堺市堺病院	8 広島市安佐市民病院
実質医業収支比率(再掲)	a	90.9%	88.6%		83.3%	94.2%	85.9%	91.7%	86.3%	83.4%	95.3%
100床当たり実質医業収益(再掲)	b	1,909	2,183	87%	1,804	2,228	2,019	2,977	1,879	2,065	2,310
100床当たり職種別職員数(非常勤職員常勤換算込)(人) 当院120%以上を青											
医師	c	22.4	19.2	117%	24.4	14.2	15.8	24.1	27.6	16.2	12.0
看護部門	d	82.8	81.8	101%	98.4	81.7	72.3	86.8	78.3	82.6	72.7
薬剤部門	e	3.0	3.4	88%	3.4	3.5	3.0	4.3	3.6	2.8	3.4
事務部門	f	7.6	9.1	83%	12.2	10.0	8.3	11.5	6.0	11.0	4.9
給食部門	g	0.7	0.8	86%	1.1	1.1	0.8	0.8	0.9	1.0	0.0
放射線部門	h	3.3	4.1	80%	3.8	5.1	4.2	4.2	4.2	4.4	3.0
臨床検査部門	i	4.6	5.6	83%	6.1	5.7	3.9	7.2	5.5	5.6	4.9
その他部門	j	2.6	4.7	55%	6.4	4.2	3.1	6.8	4.2	4.5	3.8
全職員	k=c~j計	127.1	128.8	99%	155.8	125.4	111.5	145.7	130.3	128.0	104.7
実質医業収益/職員	l=b/k	15.0	17.2	87%	11.6	17.8	18.1	20.4	14.4	16.1	22.1
実質医業収益/医師	m=b/c	85.2	124.3	69%	73.9	156.9	127.8	123.5	68.1	127.4	192.5
医師1人1日患者数(人) 当院120%以上を青											
入院	n	3.5	3.5	100%	3.5	3.4	3.3	4.0	2.9	2.9	4.6
外来	o	5.5	5.7	96%	6.0	5.3	7.0	6.3	5.6	4.2	5.7

記載している各数値は四捨五入によっているため、合計数値と一致しない場合がある。

出典: 地方公営企業年鑑(平成21年度)

17. 職員数の状況 イ) 経営良好10病院

本編: 2. 他病院との比較(平成21年度)

- 100床当たりの職種別職員数(非常勤の常勤換算込)を見ると、全ての職種でさいたま市立病院は平均を下回っていた。医師、看護師は平均を若干下回る水準であるが、放射線(平均対比78%)、臨床検査(同71%)等は大きく下回っていた。なお、薬剤部門は院外処方実施状況、給食は委託状況の差異による影響が大きいなどの要因が考えられる。
- 実質医業収支比率が100%以上の5病院は、全てさいたま市立病院よりも全職員数が多く、かつ職員1人当たりの実質医業収益(=生産性)もさいたま市立病院以上であることが確認された。
- なお、医師1人当たり実質医業収益は、平均対比78%の水準だった。収益の項目で見た患者一人一日当たり収入の傾向もさることながら、医師一人一日当たり患者数の差異も要因と考えられる。

	番号	1	B=9~18平均		9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
	病院名	さいたま市立病院	経営良好10病院平均	さいたま市数値÷経営良好平均(1÷B)	山形市立病院済生館	総合病院国保旭中央病院	青梅市総合病院	平塚市民病院	藤沢市民病院	岐阜市民病院	大垣市民病院	小牧市民病院	兵庫県立尼崎病院	三豊総合病院
実質医業収支比率(再掲)	a	90.9%	98.7%		98.1%	100.4%	92.9%	92.5%	95.2%	97.7%	104.7%	101.3%	100.6%	104.1%
100床当たり実質医業収益(再掲)	b	1,909	2,474	77%	1,625	2,954	2,449	2,145	2,670	2,077	2,959	3,127	2,597	2,131
100床当たり職種別職員数(非常勤職員常勤換算込)(人) 当院120%以上を青														
医師	c	22.4	23.0	98%	15.2	27.2	24.4	24.2	29.1	18.8	20.9	29.9	24.4	15.4
看護部門	d	82.8	87.4	95%	73.3	103.2	84.6	88.2	109.4	74.4	82.8	92.4	81.6	84.2
薬剤部門	e	3.0	4.4	68%	4.1	5.8	4.0	4.6	5.3	2.8	5.3	5.0	3.8	3.5
事務部門	f	7.6	9.7	79%	7.1	9.8	5.9	10.0	21.2	6.2	7.1	10.3	5.8	13.3
給食部門	g	0.7	3.5	20%	0.7	6.1	4.4	1.2	5.4	0.8	4.8	0.8	5.4	5.8
放射線部門	h	3.3	4.3	78%	3.2	5.0	3.6	3.4	5.1	3.6	4.9	6.4	4.2	3.1
臨床検査部門	i	4.6	6.5	71%	5.7	7.2	5.8	7.3	7.4	4.6	6.9	7.6	6.6	5.4
その他部門	j	2.6	9.1	29%	4.3	22.6	11.4	5.3	6.4	7.1	11.2	5.3	5.8	11.8
全職員	k=c~j計	127.1	147.8	86%	113.5	187.0	144.1	144.1	189.1	118.3	143.8	157.6	137.6	142.4
実質医業収益/職員	l=b/k	15.0	16.8	89%	14.3	15.8	17.0	14.9	14.1	17.6	20.6	19.8	18.9	15.0
実質医業収益/医師	m=b/c	85.2	109.8	78%	106.9	108.6	100.4	88.7	91.8	110.5	141.6	104.6	106.4	138.4
医師1人1日患者数(人) 当院120%以上を青														
入院	n	3.5	4.1	86%	5.3	3.1	3.7	4.3	3.2	4.6	4.2	3.1	3.3	5.7
外来	o	5.5	7.6	72%	6.2	8.6	7.0	8.6	6.3	8.7	8.7	7.3	5.3	9.7

記載している各数値は四捨五入によっているため、合計数値と一致しない場合がある。 出典: 地方公営企業年鑑(平成21年度)
 注) 地方独立行政法人は職種別職員数データの開示が無い場合、比較ページは設けていない。

18. DPCの状況 ()係数、手術等の状況 ア) 政令市7病院

本編: . 2. 他病院との比較(平成21年度)

参考資料

- 医療制度動向上、急性期病院の入院収益はDPC(診断群分類)包括評価制度により支払われる方向にある。DPC制度から得られる収入はDPC係数により大きく左右される。
- そこで、確認可能な係数である、調整係数、機能評価係数を比較したところ、調整係数は平均対比98%、機能評価係数は同106%であることが確認された。機能評価係数の内訳では、救急医療係数が平均対比131%の高水準で比較病院中で高い水準である一方、地域医療係数は68%の水準であった(機能評価係数の公表データは存在を確認できなかった)。
- 100床当たりの手術等の実施状況では、横浜市民病院、川崎病院、京都市立病院、堺病院、安佐市民病院で化学療法がさいたま市立病院よりも多い。安佐市民病院では手術、化学療法、全身麻酔の各高度医療が多いポジションを占めている。

番号	1		A=2~8平均		2	3	4	5	6	7	8
	病院名	さいたま市立病院	政令市7病院平均(さいたま市除く)	さいたま市数値÷政令市平均(1÷A)	仙台市立病院	横浜市市民病院	川崎市川崎病院	静岡市立静岡病院	京都市立病院	堺市堺病院	広島市安佐市民病院
DPC関連データ											
DPC適用年度		H21年度			H18年度	H20年度	H21年度	H21年度	H21年度	H18年度	H20年度
DPC係数 (比較20病院中の上位5位までを青)											
調整係数	a	1.0199	1.0404	98%	1.0398	1.0178	1.0148	1.0488	1.0099	1.1026	1.0492
機能評価係数	b=c~h計	0.0297	0.0280	106%	0.0271	0.0307	0.0271	0.0296	0.0264	0.0275	0.0276
うちデータ提出係数	c	0.0039	0.0039	100%	0.0039	0.0039	0.0039	0.0039	0.0039	0.0039	0.0039
効率性係数	d	0.0053	0.0045	119%	0.0044	0.0054	0.0041	0.0040	0.0034	0.0053	0.0047
複雑性係数	e	0.0039	0.0036	108%	0.0011	0.0044	0.0034	0.0056	0.0030	0.0033	0.0045
カバー率係数	f	0.0052	0.0050	105%	0.0040	0.0062	0.0057	0.0050	0.0049	0.0042	0.0047
地域医療係数	g	0.0034	0.0050	68%	0.0056	0.0056	0.0045	0.0045	0.0056	0.0045	0.0045
救急医療係数	h	0.0080	0.0061	131%	0.0081	0.0052	0.0055	0.0066	0.0056	0.0063	0.0053
100床当たり月間件数(DPC対象) 当院120%以上を青(放射線除く)											
手術	i	71	74	96%	69	76	72	79	58	68	92
化学療法	j	13	15	86%	8	18	16	15	17	16	17
放射線療法	k	1	2	69%	1	1	2	2	1	3	3
救急搬送	l	31	25	125%	23	26	22	32	17	33	23
全身麻酔	m	38	34	110%	33	40	38	31	22	28	50

記載している各数値は四捨五入によっているため、合計数値と一致しない場合がある。
 出典:厚生労働省 中央社会保険医療協議会診療報酬調査専門組織(DPC評価分科会) 平成22年6月30日付資料

18. DPCの状況 () 疾患別取扱状況 ア) 政令市7病院

本編: . 2. 他病院との比較(平成21年度)

- 手術等の実施状況は、各病院の疾患取り扱い状況にも依存する。そこで、主要診断群(MDC)別の100床当たり月間取扱件数を比較したところ、以下表のような状況であった。
- さいたま市立病院は、消化器系の取扱い件数が43件と他院平均比で117%である。
- さいたま市立病院では、患者一人一日当たり収入の高い眼科系のほか、精神系の取り扱いが無い。比較対象病院では、京都市立病院は眼科系の件数が多い。
- 静岡病院では、患者一人一日当たり収入の高い循環器系の取扱い件数が多い。

	番号	1	A=2~8平均	2	3	4	5	6	7	8
	病院名	さいたま市立病院	政令市7病院平均(さいたま市除く) さいたま市数値÷政令市平均(1÷A)	仙台市立病院	横浜市市民病院	川崎市川崎病院	静岡市立静岡病院	京都市立病院	堺市堺病院	広島市安佐市民病院
MDC別件数(100床当たり月間件数)		10件以上かつ	当院対比150%以上を青							
01 神経系	a	10	9 111%	9	10	9	8	9	7	12
02 眼科系	b	0	6 0%	5	5	5	8	10	0	8
03 耳鼻咽喉系	c	7	6 106%	9	5	6	4	8	6	6
04 呼吸器系	d	19	23 81%	18	33	19	27	23	27	16
05 循環器系	e	15	19 81%	17	12	11	42	14	14	22
06 消化器系	f	43	37 117%	26	47	28	36	33	45	45
07 筋骨格系	g	6	8 77%	3	8	9	5	8	7	17
08 皮膚系	h	2	2 86%	2	2	2	1	4	2	1
09 乳房系	i	0	2 28%	1	1	1	2	2	2	2
10 内分泌系	j	4	5 79%	5	6	3	5	5	4	3
11 腎・尿路系	k	14	12 119%	10	13	11	10	14	16	11
12 女性生殖器系	l	13	12 108%	18	11	19	8	5	12	13
13 血液系	m	4	5 72%	4	8	4	5	5	6	5
14 新生児系	n	6	3 204%	3	4	3	2	2	2	3
15 小児系	o	3	2 107%	3	3	2	1	3	3	1
16 外傷系	p	8	8 99%	14	10	9	9	5	5	5
17 精神系	q	0	0 0%	0	1	0	0	0	0	1
18 その他	r	3	3 95%	3	3	3	4	2	4	3
合計	s=a~r計	157	163 96%	150	182	144	178	150	163	174

記載している各数値は四捨五入によっているため、合計数値と一致しない場合がある。
 出典:厚生労働省 中央社会保険医療協議会診療報酬調査専門組織(DPC評価分科会)平成22年6月30日付資料

18. DPCの状況 ()係数、手術等の状況 イ)経営良好10病院

本編: . 2. 他病院との比較(平成21年度)

参考資料

- 経営良好として抽出した10病院について、調整係数、機能評価係数を比較したところ、調整係数は平均対比97%、機能評価係数は同106%であることが確認された。機能評価係数の内訳では、救急医療係数が平均対比147%の高水準となる一方、地域医療係数は65%の水準であった。比較病院中では、小牧市民病院を始めとする<高収益型>病院の機能評価係数が高水準であり、前項の一人一日当たり収入の一因も確認された。
- 100床当たりの手術等の実施状況では、さいたま市立病院は救急取扱が顕著に多かった。比較対象では、小牧市民病院、国保旭中央病院、藤沢市民病院が、手術等の項目で多く、診療実績面でも一人一日当たり収入の背景が確認された。

DPC関連データ	番号	1	B=9~18平均	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	
	病院名	さいたま市立病院	経営良好10病院平均	山形市立病院済生館	総合病院国保旭中央病院	青梅市総合病院	平塚市民病院	藤沢市民病院	岐阜市民病院	大垣市民病院	小牧市民病院	兵庫県立尼崎病院	三豊総合病院	
DPC適用年度		H21年度		H20年度	H20年度	H18年度	H20年度	H20年度	H20年度	H20年度	H20年度	H20年度	H21年度	
DPC係数 (比較20病院中の上位5位までを青)														
調整係数	a	1.0199	1.0513	97%	1.0283	1.0457	1.0782	1.0498	1.0307	1.1046	1.0454	1.0673	1.0634	1.0000
機能評価係数	b=c~h計	0.0297	0.0281	106%	0.0262	0.0320	0.0252	0.0255	0.0303	0.0256	0.0295	0.0327	0.0246	0.0294
うちデータ提出係数	c	0.0039	0.0039	100%	0.0039	0.0039	0.0039	0.0039	0.0039	0.0039	0.0039	0.0039	0.0039	0.0039
効率性係数	d	0.0053	0.0045	119%	0.0042	0.0056	0.0038	0.0054	0.0051	0.0038	0.0029	0.0058	0.0031	0.0049
複雑性係数	e	0.0039	0.0038	102%	0.0032	0.0036	0.0037	0.0028	0.0036	0.0041	0.0050	0.0051	0.0041	0.0031
カバー率係数	f	0.0052	0.0052	100%	0.0047	0.0067	0.0045	0.0039	0.0052	0.0048	0.0067	0.0061	0.0046	0.0047
地域医療係数	g	0.0034	0.0053	65%	0.0034	0.0067	0.0034	0.0045	0.0056	0.0045	0.0067	0.0067	0.0045	0.0067
救急医療係数	h	0.0080	0.0055	147%	0.0068	0.0055	0.0059	0.0050	0.0069	0.0045	0.0043	0.0051	0.0044	0.0061
100床当たり月間件数(DPC対象) 当院120%以上を青(放射線除く)														
手術	i	71	77	92%	58	103	63	77	85	70	82	91	84	58
化学療法	j	13	16	84%	13	16	15	11	18	15	15	26	15	14
放射線療法	k	1	3	48%	2	2	2	1	2	3	2	8	3	2
救急搬送	l	31	25	126%	29	23	27	19	38	18	20	27	21	28
全身麻酔	m	38	28	134%	18	30	24	33	33	25	33	40	29	18

記載している各数値は四捨五入によっているため、合計数値と一致しない場合がある。
 出典:厚生労働省 中央社会保険医療協議会診療報酬調査専門組織(DPC評価分科会)平成22年6月30日付資料

18. DPCの状況 () 疾患別取扱状況 イ) 経営良好10病院

参考資料

本編: 2. 他病院との比較(平成21年度)

- 循環器系は一人一日当たり収入が高く、眼科も手術収益等が得られ易い傾向にある。一人一日当たり収入や高手術件数の背景には、これら取り扱い疾患の差異もあると推察される。
- 比較対象病院で眼科系の取り扱いは国保旭中央病院、藤沢市民病院、兵庫県立尼崎病院が多い。循環器系では小牧市民病院、兵庫県立尼崎病院で件数が多い。
- 消化器系では、さいたま市立病院も他病院平均比122%と多い。

	番号	1	B=9~18平均		9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
	病院名	さいたま市立病院	経営良好10病院平均	さいたま市数値÷経営良好平均(1÷B)	山形市立病院済生館	総合病院国保旭中央病院	青梅市総合病院	平塚市民病院	藤沢市民病院	岐阜市民病院	大垣市民病院	小牧市民病院	兵庫県立尼崎病院	三豊総合病院
MDC別件数(100床当たり月間件数)		10件以上かつ	10件以上かつ	当院対比150%以上を青										
01 神経系	a	10	12	88%	18	9	8	9	12	8	10	20	9	12
02 眼科系	b	0	8	0%	5	14	3	8	12	5	7	3	15	5
03 耳鼻咽喉系	c	7	7	98%	13	5	4	7	7	6	8	9	5	3
04 呼吸器系	d	19	23	84%	29	13	21	18	31	21	24	27	21	22
05 循環器系	e	15	19	80%	9	15	22	14	18	21	20	24	33	16
06 消化器系	f	43	35	122%	33	29	27	37	36	34	40	48	34	38
07 筋骨格系	g	6	6	102%	5	4	5	7	7	7	5	8	8	7
08 皮膚系	h	2	2	81%	2	1	0	4	2	3	3	1	1	2
09 乳房系	i	0	2	29%	2	2	1	2	2	1	2	3	1	1
10 内分泌系	j	4	5	77%	5	2	6	4	4	5	6	2	6	5
11 腎・尿路系	k	14	17	85%	16	22	13	20	21	12	12	24	16	13
12 女性生殖系	l	13	10	131%	11	13	12	15	13	10	10	14	0	4
13 血液系	m	4	4	88%	3	3	7	2	5	5	5	8	4	3
14 新生児系	n	6	3	179%	4	3	4	2	4	1	4	2	6	2
15 小児系	o	3	2	118%	4	1	2	3	2	3	2	3	1	2
16 外傷系	p	8	9	90%	7	9	9	11	13	6	9	12	3	10
17 精神系	q	0	0	0%	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18 その他	r	3	3	110%	2	4	2	2	3	2	2	4	4	1
合計	s=a~r計	157	166	95%	169	149	145	164	192	149	169	212	166	146

記載している各数値は四捨五入によっているため、合計数値と一致しない場合がある。
 出典: 厚生労働省 中央社会保険医療協議会診療報酬調査専門組織(DPC評価分科会) 平成22年6月30日付資料

18 . DPCの状況 () 係数、手術等の状況

ウ) 地方独立行政法人3病院

本編: . 2 . 他病院との比較(平成21年度)

- 地方独立行政法人3病院のうち、神戸市立医療センターの機能評価係数は、DPC参加病院でほぼ同一であるデータ提出係数を除いて高い設定値となっている。
- さいたま市立病院の機能評価係数は地方独立行政法人3病院平均に対して97%となっているものの、救急医療係数では独法3病院平均比で124%、効率性係数では平均に対して106%と上回っている。

番号	1
病院名	さいたま市立病院
DPC関連データ	
DPC適用年度	H21年度
DPC係数 (比較20病院中の上位5位までを青)	
調整係数	a 1.0199
機能評価係数	b=c ~ h計 0.0297
うちデータ提出係数	c 0.0039
効率性係数	d 0.0053
複雑性係数	e 0.0039
カバー率係数	f 0.0052
地域医療係数	g 0.0034
救急医療係数	h 0.0080
100床当たり月間件数(DPC対象) 当院120%以上を青(放射線除く)	
手術	i 71
化学療法	j 13
放射線療法	k 1
救急搬送	l 31
全身麻酔	m 38

C=19~21平均		19	20	21
地方独立行政法人3病院平均	さいたま市数値÷地方独法平均(1÷C)	大阪府立急性期・総合医療センター	神戸市立医療センター中央市民病院	那覇市立病院
		H21年度	H21年度	H20年度
1.0211	100%	1.0074	1.0358	1.0202
0.0306	97%	0.0275	0.0356	0.0286
0.0039	100%	0.0039	0.0039	0.0039
0.0050	106%	0.0047	0.0057	0.0046
0.0042	92%	0.0031	0.0063	0.0033
0.0057	91%	0.0061	0.0067	0.0044
0.0052	65%	0.0045	0.0056	0.0056
0.0065	124%	0.0052	0.0074	0.0068
72	98%	71	83	63
13	103%	11	19	8
2	55%	2	3	1
24	132%	18	26	27
29	130%	24	38	25

記載している各数値は四捨五入によっているため、合計数値と一致しない場合がある。
 出典:厚生労働省 中央社会保険医療協議会診療報酬調査専門組織(DPC評価分科会) 平成22年6月30日付資料

18. DPCの状況 ()疾患別取扱状況 ウ)地方独立行政法人3病院 . 参考資料

本編: . 2. 他病院との比較(平成21年度)

- さいたま市立病院は、消化器系の疾患割合が他院平均比で131%と高い一方、眼科系の取り扱いが無いことが特徴である。
- 比較対象病院で眼科系の取扱いは大阪府立で9件、神戸市立で14件と多い。神戸市立では血液系疾患も多く取り扱っている。
- 那覇市立病院は呼吸器系疾患の取扱いが35件と多くなっている。

	番号	1	C=19~21平均		19	20	21
	病院名	さいたま市立病院	地方独立行政法人3病院平均	さいたま市 数値÷地方 独法平均(1 ÷C)	大阪府立 急性期・ 総合医療 センター	神戸市立 医療センター 中央市民 病院	那覇 市立病院
MDC別件数(100床当たり月間件数)		10件以上かつ	当院対比150%以上を青				
01 神経系	a	10	13	81%	9	15	13
02 眼科系	b	0	10	0%	9	14	6
03 耳鼻咽喉系	c	7	7	100%	5	7	7
04 呼吸器系	d	19	24	79%	19	18	35
05 循環器系	e	15	17	91%	18	19	14
06 消化器系	f	43	33	131%	40	26	33
07 筋骨格系	g	6	7	88%	6	7	9
08 皮膚系	h	2	2	89%	1	2	3
09 乳房系	i	0	1	36%	1	1	1
10 内分泌系	j	4	6	62%	5	6	6
11 腎・尿路系	k	14	13	110%	15	11	13
12 女性生殖器系	l	13	10	134%	7	11	11
13 血液系	m	4	6	68%	1	10	6
14 新生児系	n	6	4	142%	2	4	7
15 小児系	o	3	2	110%	2	1	4
16 外傷系	p	8	8	100%	5	8	11
17 精神系	q	0	1	0%	0	2	1
18 その他	r	3	4	73%	2	3	6
合計	s=a~r計	157	166	94%	150	165	185

記載している各数値は四捨五入によっているため、合計数値と一致しない場合がある。
 出典:厚生労働省 中央社会保険医療協議会診療報酬調査専門組織(DPC評価分科会)平成22年6月30日付資料

19. 他会計繰入金について 法的根拠～地方公営企業法～

本編: . 2. 他病院との比較(平成21年度)

参考資料

原則

公立病院は独立採算 (= 患者さん等からの診療収益で経費を賄う)

ただし、項目によっては、
一般会計で負担される

その性質上、収入をもって充てることが適当でない経費 (行政事務等に関わる経費)
能率的な経営を行ってもなお、収入のみで充てることが困難な経費 (周産期等の不採算医療)

地方公営企業法(経費の負担の原則)

第17条の2 次に掲げる地方公営企業の経費で政令で定めるものは、地方公共団体の一般会計又は他の特別会計において、出資、長期の貸付け、負担金の支出その他の方法により負担するものとする。

- 一 その性質上当該地方公営企業の経営に伴う収入をもつて充てることが適当でない経費
- 二 当該地方公営企業の性質上能率的な経営を行なつてもなおその経営に伴う収入のみをもつて充てることが客観的に困難であると認められる経費

地方公営企業法施行令(一般会計等において負担する経費)

第8条の5 法第17条の2第1項第1号に規定する経費で政令で定めるものは、次の各号に掲げる事業の区分に応じ、当該各号に定める経費(当該経費に係る特定の収入がある場合には、当該特定の収入の額をこえる部分)とする。

三 病院事業 看護師の確保を図るために行う養成事業に要する経費、救急の医療を確保するために要する経費及び集団検診、医療相談等保健衛生に関する行政として行なわれる事務に要する経費

2 法第17条の2第1項第2号に規定する経費で政令で定めるものは、次の各号に掲げる事業の区分に応じ、当該各号に定める経費(当該経費に充てることができる当該事業の経営に伴う収入の額をこえる部分に限る。)とする。

二 病院事業 山間地、離島その他のへんぴな地域等における医療の確保をはかるため設置された病院又は診療所でその立地条件により採算をとることが困難であると認められるものに要する経費及び病院の所在する地域における医療水準の向上をはかるため必要な高度又は特殊な医療で採算をとることが困難であると認められるものに要する経費

附則(一般会計等において負担する経費に関する経過措置)

14 法第17条の2第1項第2号に規定する病院事業の経費で政令で定めるものは、当分の間、第8条の5第2項第2号に定める経費のほか、病院及び診療所の建設又は改良に要する経費(当該経費に充てることができる病院事業の経営に伴う収入の額をこえる部分に限る。)とする。

19. 他会計繰入金について 総務省繰出基準平成22年度版 1/3

本編: 2. 他病院との比較(平成21年度)

参考資料

No	項目	基準趣旨	基準
1	病院の建設改良に要する経費	病院の建設改良費について一般会計が負担するための経費である。	病院の建設改良費(当該病院の建設改良に係る企業債及び国庫(県)補助金等の特定財源を除く。以下同じ。)及び企業債元利償還金(PFI事業に係る割賦負担金を含む。以下同じ。)のうち、その経営に伴う収入をもって充てることができないと認められるものに相当する額(建設改良費及び企業債元利償還金等の2分の1(ただし、平成14年度までに着手した事業に係る企業債元利償還金等にあつては3分の2)を基準とする。)とする。
2	へき地医療の確保に要する経費	へき地における医療の確保を図るために必要な経費について、一般会計が負担するための経費である。	ア 地域において中核的役割を果たしている病院による巡回診療、へき地診療所等への応援医師又は代診医師の派遣及び訪問看護に要する経費等のうち、その経営に伴う収入をもって充てることができないと認められるものに相当する額とする。 イ 遠隔医療システムの運営に要する経費のうち、その経営に伴う収入をもって充てることができないと認められるものに相当する額とする。
3	不採算地区病院の運営に要する経費	不採算地区病院の運営に要する経費について、一般会計が負担するための経費である。	不採算地区病院(病床数150床未満(感染症病床を除く。))の最寄りの一般病院までの到着距離が15キロメートル以上であるもの又は直近の国勢調査における人口集中地区以外の地域に所在するものの運営に要する経費のうち、その経営に伴う収入をもって充てることができないと認められるものに相当する額とする。
4	結核医療に要する経費	結核医療の実施に要する経費について、一般会計が負担するための経費である。	医療法(昭和23年法律第205号)第7条第2項第3号に規定する結核病床の確保に要する経費のうち、これに伴う収入をもって充てることができないと認められるものに相当する額とする。
5	精神医療に要する経費	精神医療の実施に要する経費について、一般会計が負担するための経費である。	医療法(昭和23年法律第205号)第7条第2項第1号に規定する精神病床の確保に要する経費のうち、これに伴う収入をもって充てることができないと認められるものに相当する額とする。
6	感染症医療に要する経費	感染症医療の実施に要する経費について、一般会計が負担するための経費である。	医療法(昭和23年法律第205号)第7条第2項第2号に規定する感染症病床の確保に要する経費のうち、これに伴う収入をもって充てることができないと認められるものに相当する額とする。
7	リハビリテーション医療に要する経費	リハビリテーション医療の実施に要する経費について、一般会計が負担するための経費である。	リハビリテーション医療の実施に要する経費のうち、これに伴う収入をもって充てることができないと認められるものに相当する額とする。
8	周産期医療に要する経費	周産期医療の実施に要する経費について、一般会計が負担するための経費である。	周産期医療の用に供する病床の確保に要する経費のうち、これに伴う収入をもって充てることができないと認められるものに相当する額とする。
9	小児医療に要する経費	小児医療の実施に要する経費について、一般会計が負担するための経費である。	小児医療(小児救急医療を除く。)の用に供する病床の確保に要する経費のうち、これに伴う収入をもって充てることができないと認められるものに相当する額とする。

19. 他会計繰入金について 総務省繰出基準平成22年度版 2/3

本編: 2. 他病院との比較(平成21年度)

参考資料

No	項目	基準趣旨	基準
10	救急医療の確保に要する経費	救急医療の確保に要する経費について、一般会計が負担するための経費である。	<p>ア 救急病院等を定める省令(昭和39年厚生省令第8号)第2条の規定により告示された救急病院又は「救急医療対策の整備事業について」(昭和52年7月6日付け医発第692号)に基づく救命救急センター若しくは小児救急医療拠点病院事業若しくは小児救急医療支援事業を実施する病院における医師等の待機及び空床の確保等救急医療の確保に必要な経費に相当する額とする。</p> <p>イ 次に掲げる病院が災害時における救急医療のために行う施設(通常の診療に必要な施設を上回る施設)の整備(耐震改修を含む。)に要する経費に相当する額とする。 医療法(昭和23年法律第205号)第30条の4第1項に基づく医療計画に定められている災害拠点病院(以下「災害拠点病院」という。) 地震防災対策特別措置法に基づく地震防災緊急事業五箇年計画に定められた耐震化を必要とする病院及び土砂災害危険箇所所在する病院 救命救急センター、病院群輪番制病院、小児救急医療拠点病院、小児救急医療支援事業参加病院、共同利用型病院等</p> <p>ウ 災害拠点病院が災害時における救急医療のために行う診療用具、診療材料及び薬品等(通常の診療に必要な診療用具、診療材料及び薬品等)を上回る診療用具、診療材料及び薬品等の備蓄に要する経費に相当する額とする。</p>
11	高度医療に要する経費	高度な医療で採算をとることが困難であっても、公立病院として行わざるをえないものの実施に要する経費について、一般会計が負担するための経費である。	高度な医療の実施に要する経費のうち、これに伴う収入をもって充てることができないと認められるものに相当する額とする。
12	公立病院附属看護師養成所の運営に要する経費	公立病院附属看護師養成所の運営に要する経費について、一般会計が負担するための経費である。	公立病院附属看護師養成所において看護師を養成するために必要な経費のうち、その運営に伴う収入をもって充てることができないと認められるものに相当する額とする。
13	院内保育所の運営に要する経費	病院内保育所の運営に要する経費について一般会計が負担するための経費である。	病院内保育所の運営に要する経費のうち、その運営に伴う収入をもって充てることができないと認められるものに相当する額とする。
14	公立病院附属診療所の運営に要する経費	公立病院附属診療所の運営に要する経費について、一般会計が負担するための経費である。	公立病院附属診療所の運営に要する経費のうち、その運営に伴う収入をもって充てることができないと認められるものに相当する額とする。
15	保健衛生行政事務に要する経費	集団検診、医療相談等保健衛生に関する行政として行われる事務に要する経費について、一般会計が負担するための経費である。	集団検診、医療相談等に要する経費のうち、これに伴う収入をもって充てることができないと認められるものに相当する額とする。

19. 他会計繰入金について 総務省繰出基準平成22年度版 3/3

本編: 2. 他病院との比較(平成21年度)

参考資料

No	項目	基準趣旨	基準
16	経営基盤強化対策に要する経費		
	(1) 医師及び看護師等の研究研修に要する経費	医師及び看護師等の研究研修に要する経費の一部について繰り出すための経費である。	医師及び看護師等の研究研修に要する経費の2分の1とする。
	(2) 病院事業の経営研修に要する経費	病院事業の経営研修に要する経費の一部について繰り出すための経費である。	病院事業の経営研修に要する経費の2分の1とする。
	(3) 保健・医療・福祉の共同研修等に要する経費	病院が中心となつて行う保健・福祉等一般行政部門との共同研修・共同研究に要する経費の一部について繰り出すための経費である。	病院が中心となつて行う保健・福祉等一般行政部門との共同研修・共同研究に要する経費の2分の1とする。
	(4) 病院事業会計に係る共済追加費用の負担に要する経費	病院事業会計に係る共済追加費用の負担に要する経費の一部について繰り出すための経費である。	当該年度の4月1日現在の職員数が地方公務員等共済組合法の長期給付等に関する施行法(昭和37年法律第153号。以下「施行法」という。)の施行の日における職員数に比して著しく増加している病院事業会計(施行法の施行日以降に事業を開始した病院事業会計を含む。)に係る共済追加費用の負担額の一部とする。
	(5) 公立病院改革プランに要する経費	「公立病院改革ガイドラインについて」(平成19年12月24日付け総経第134号)に基づく公立病院改革プラン(以下「改革プラン」という。)の実施に伴い必要な経費の一部について繰り出すための経費である。	改革プランの実施状況の点検、評価及び公表に要する経費とする。 改革プランに基づく公立病院の再編等の実施に伴い必要となる施設の除却等に要する経費のうち、経営に伴う収入をもって充てることができないと認められるものに相当する額とする。 改革プランに基づき再編・ネットワーク化に伴う新たな経営主体の設立又は既存の一部事務組合若しくは広域連合への加入に伴い経営基盤を強化し、健全な経営を確保するために要する額のうち、その経営に伴う収入をもって充てることができないと認められるものに対する出資に要する経費(の経費を除く。)とする。 改革プランに基づき公立病院等の再編等を行うことに伴い、新たに必要となる建設改良費のうち、経営に伴う収入をもって充てることができないと認められる額に対する出資に要する経費とする。 公立病院特例債に係る元利償還金とする。
	(6) 医師確保対策に要する経費	公立病院に勤務する医師の勤務環境の改善に要する経費の一部について繰り出すための経費である。	国家公務員である病院等勤務医師について講じられる措置を踏まえて行う公立病院に勤務する医師の勤務環境の改善に要する経費のうち、経営に伴う収入をもって充てることが客観的に困難であると認められるものに相当する額とする。
17	児童手当及び子ども手当に要する経費	地方公営企業職員に係る児童手当法(昭和46年法律第73号)及び平成22年度における子ども手当の支給に関する法律(平成22年法律第19号)に規定する児童手当及び子ども手当に要する経費の一部について繰り出すための経費である。	繰出しの対象となる経費は地方公営企業職員に係る児童手当及び子ども手当のうち、3歳に満たない児童を対象とする給付に要する額から児童1人当たり7千円を除いた額とする。

19. 他会計繰入金について 他病院との比較 (ア) 政令市7病院

本編: . 2. 他病院との比較(平成21年度)

参考資料

さいたま市立病院の100床当たり繰入金額は、政令市7病院平均と比較すると少ない。
人口一人当たり繰入金額は、政令市7市と比較すると少ない。

		1			A=2-8 平均	2	3	4	5	6	7	8	
開設主体		さいたま市			政令市7病院平均(さいたま市除く) さいたま市 数値÷政令市7病院平均 (1÷A)	仙台市	横浜市	川崎市	静岡市	京都市	堺市	広島市	
病院名		さいたま市立病院				市立病院	市民病院	川崎病院	静岡市立静岡病院	市立病院	堺病院	安佐市民病院	
経営形態		一部適用				全部適用	全部適用	全部適用	一部適用	一部適用	一部適用	全部適用	
年度		20年度	21年度	22年度(見込)	21年度	21年度	21年度	21年度	21年度	21年度	21年度	21年度	
病床数	a	567	567	567	569	100%	525	650	733	506	548	493	527
収益的収支の他会計繰入額(百万円)	b	1,375	1,488	1,432	1,956	76%	1,987	1,219	3,810	2,025	2,173	1,591	887
資本的収支の他会計繰入額(百万円)	c	190	201	207	436	46%	548	383	0	674	0	695	755
特別利益の他会計繰入額(百万円)	d	0	0	0	11	0%	0	0	0	0	76	0	0
他会計繰入金合計(百万円)	e=b+c+d	1,565	1,689	1,638	2,403	70%	2,535	1,602	3,810	2,699	2,249	2,286	1,642
100床当たり繰入金(百万円)	f=e/a	276	298	289	422	71%	483	246	520	533	410	464	312

		1			A'=2-8 平均	2	3	4	5	6	7	8	
開設主体		さいたま市			政令市7市平均(さいたま市除く) さいたま市 数値÷政令市7市平均 (1÷A')	仙台市	横浜市	川崎市	静岡市	京都市	堺市	広島市	
病院名		さいたま市立病院				市立病院	市民病院	川崎病院	静岡市立静岡病院	市立病院	堺病院	安佐市民病院	
開設自治体傘下の他病院数	g	0	0	0		1.4	0%	0	2	2	1	1	0
他病院向け繰入額	h	0	0	0	2,251	0%	0	5,067	3,604	2,186	167	0	4,732
他病院向けも含めた繰入額合計	i=e+h	1,565	1,689	1,638	4,654	36%	2,535	6,669	7,414	4,885	2,417	2,286	6,374
人口(住民基本台帳当該年度末もしくは翌年度初)	j	1,198,996	1,209,234	1,216,892	1,443,188	84%	1,010,256	3,620,562	1,373,851	717,578	1,384,896	837,680	1,157,495
人口一人当たりの繰入金額(円)	k=i/j	1,305	1,397	1,346	3,225	43%	2,509	1,842	5,397	6,808	1,745	2,729	5,506

出典: 地方公営企業年鑑(平成20年度、平成21年度)、さいたま市決算見込データ(平成22年度)

人口一人当たり金額算出に際しては、以下にて計算を行っている。

開設自治体の病院事業に対する繰入金総額 ÷ 各自治体の住民基本台帳(該当年度末もしくは翌年度初時点)

なお、人口一人当たり金額算出に際しては、自治体規模・病院機能等を勘案するため、兵庫県、大阪府を除外して平均値を算出している。

19. 他会計繰入金について 他病院との比較 (イ) 経営良好10病院

本編: . 2. 他病院との比較(平成21年度)

さいたま市立病院の100床当たり繰入金額は、経営良好10病院平均と比較すると多い。
人口一人当たり繰入金額は、経営良好病院開設9市と比較すると少ない。

		1		
開設主体		さいたま市		
病院名		さいたま市立病院		
経営形態		一部適用		
年度		20年度	21年度	22年度(見込)
病床数	a	567	567	567
収益的収支の他会計繰入額(百万円)	b	1,375	1,488	1,432
資本的収支の他会計繰入額(百万円)	c	190	201	207
特別利益の他会計繰入額(百万円)	d	0	0	0
他会計繰入金合計(百万円)	e=b+c+d	1,565	1,689	1,638
100床当たり繰入金(百万円)	f=e/a	276	298	289

B=9~18平均		9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
経営良好10病院平均	さいたま市 数値÷経営 良好10病院 平均 (1÷B)	山形市 市立病院 済生館 一部適用	旭市 総合病院 国保旭中央 病院 全部適用	青梅市 総合病院 全部適用	平塚市 市民病院 一部適用	藤沢市 市民病院 一部適用	岐阜市 市民病院 一部適用	大垣市 市民病院 一部適用	小牧市 市民病院 一部適用	兵庫県 県立 尼崎病院 全部適用	三豊総合 病院組合 三豊 総合病院 一部適用
21年度	21年度	21年度	21年度	21年度	21年度	21年度	21年度	21年度	21年度	21年度	21年度
612	93%	585	956	562	416	536	609	888	544	500	519
972	153%	1,189	1,734	653	1,020	1,858	826	247	1,028	956	213
203	99%	173	33	35	0	9	579	117	122	609	355
0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1,176	144%	1,362	1,767	688	1,020	1,867	1,405	364	1,150	1,565	568
192	155%	233	185	122	245	348	231	41	211	313	109

		1		
開設主体		さいたま市		
病院名		さいたま市立病院		
開設自治体傘下の他病院数		g	0	0
他病院向け繰入額		h	0	0
他病院向けも含めた繰入額合計		i=e+h	1,565	1,689
人口(住民基本台帳当該年度末もしくは翌年度初)		j	1,198,996	1,209,234
人口一人当たりの繰入金額(円)		k=i/j	1,305	1,397

B=9~18平均(17除く)		9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
経営良好9市平均	さいたま市 数値÷経営 良好9市平 均(1÷B')	山形市 市立病院 済生館	旭市 総合病院 国保旭中央 病院	青梅市 総合病院	平塚市 市民病院	藤沢市 市民病院	岐阜市 市民病院	大垣市 市民病院	小牧市 市民病院	兵庫県 県立 尼崎病院	三豊総合 病院組合 三豊 総合病院
0.2	0%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
47	0%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	427
1,180	143%	1,362	1,767	688	1,020	1,867	1,405	364	1,150	995	995
218,835	553%	250,040	68,955	138,263	257,387	404,808	410,971	158,959	145,039	135,097	135,097
5,391	26%	5,449	25,621	4,973	3,963	4,613	3,418	2,290	7,929	7,363	7,363

出典: 地方公営企業年鑑(平成20年度、平成21年度)、さいたま市決算見込データ(平成22年度)

人口一人当たり金額算出に際しては、以下にて計算を行っている。

開設自治体の病院事業に対する繰入金総額(複数病院がある場合は複数の総額) ÷ 各自治体の住民基本台帳(該当年度末もしくは翌年度初時点)

なお、人口一人当たり金額算出に際しては、自治体規模・病院機能等を勘案するため、兵庫県、大阪府を除外して平均値を算出している。

19. 他会計繰入金について 他病院との比較

(ウ) 地方独立行政法人3病院

本編: . 2. 他病院との比較(平成21年度)

さいたま市立病院の100床当たり繰入金額は、地方独立行政法人3病院平均と比較すると少ない。
人口一人当たり繰入金額は、地方独立行政法人開設2市平均と比較すると少ない。

		1		
開設主体		さいたま市		
病院名		さいたま市立病院		
経営形態		一部適用		
年度		20年度	21年度	22年度(見込)
病床数	a	567	567	567
収益的収支の他会計繰入額(百万円)	b	1,375	1,488	1,432
資本的収支の他会計繰入額(百万円)	c	190	201	207
特別利益の他会計繰入額(百万円)	d	0	0	0
他会計繰入金合計(百万円)	e=b+c+d	1,565	1,689	1,638
100床当たり繰入金(百万円)	f=e/a	276	298	289

C=19~21 平均		19	20	21
地方独立行政法人3病院平均	さいたま市数値÷地方独立行政法人3病院平均(1÷C)	大阪府 急性期・総合医療センター 地方独法	神戸市 神戸市立医療センター中央市民病院 地方独法	那覇市 那覇市立病院 地方独法
21年度	21年度	21年度	21年度	21年度
717	79%	768	912	470
2,499	60%	3,330	3,756	410
627	32%	1,005	501	377
0	-	0	0	0
3,126	54%	4,335	4,256	786
436	68%	564	467	167

		1		
開設主体		さいたま市		
病院名		さいたま市立病院		
開設自治体傘下の他病院数	g	0	0	0
他病院向け繰入額	h	0	0	0
他病院向けも含めた繰入額合計	i=e+h	1,565	1,689	1,638
人口(住民基本台帳当該年度末もしくは翌年度初)	j	1,198,996	1,209,234	1,216,892
人口一人当たりの繰入金額(円)	k=i/j	1,305	1,397	1,346

C'=20~21 平均		19	20	21
地方独立行政法人開設2市平均	さいたま市数値÷地方独立行政法人2市平均(1÷C')	大阪府 急性期・総合医療センター	神戸市 神戸市立医療センター中央市民病院	那覇市 那覇市立病院
0.5	0%	集計対象外	1	0
900	0%		1,801	0
3,422	67%		6,057	786
913,402	132%		1,511,351	315,452
3,746	37%		4,008	2,493

出典: 地方公営企業年鑑(平成20年度、平成21年度)、さいたま市決算見込データ(平成22年度)

人口一人当たり金額算出に際しては、以下にて計算を行っている。

開設自治体の病院事業に対する繰入金総額(複数病院がある場合は複数の総額) ÷ 各自治体の住民基本台帳(該当年度末もしくは翌年度初時点)

なお、人口一人当たり金額算出に際しては、自治体規模・病院機能等を勘案するため、兵庫県、大阪府を除外して平均値を算出している。